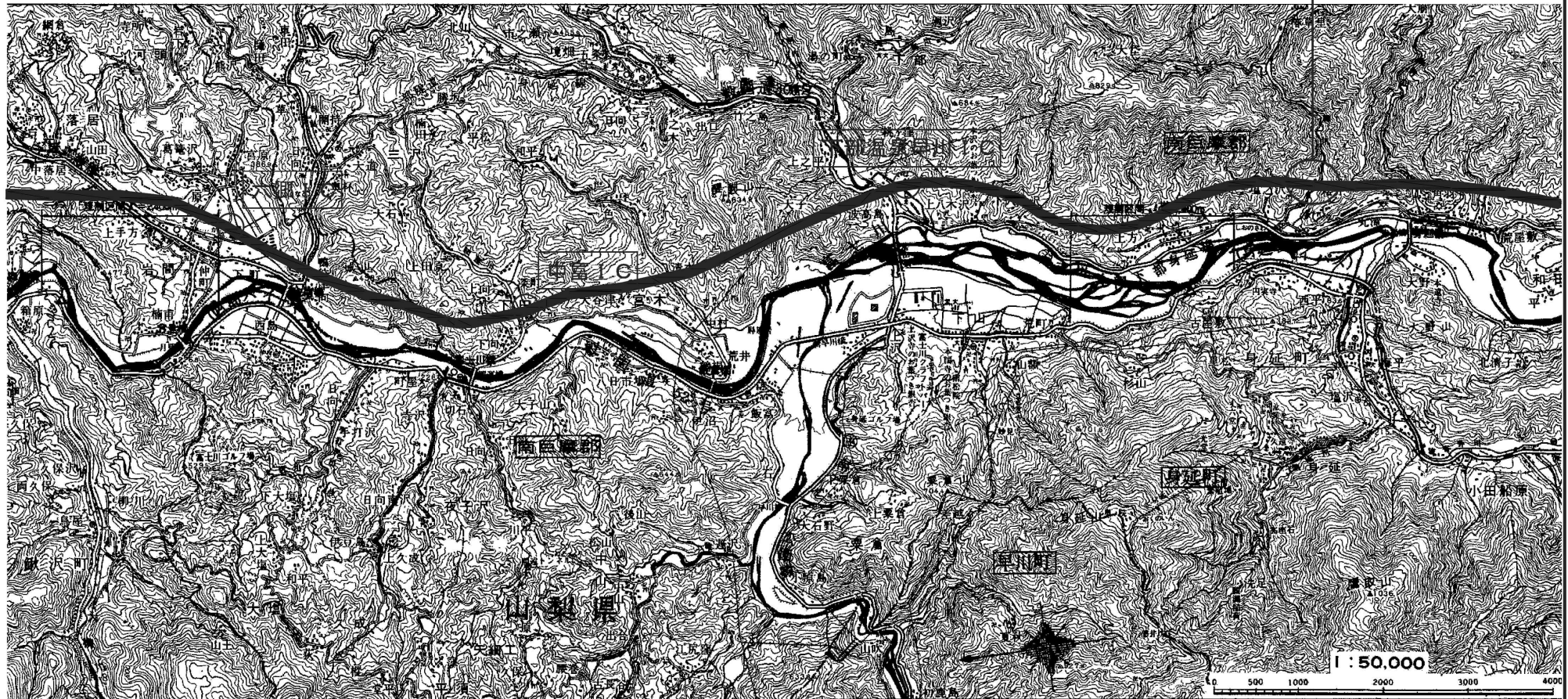


位置図

S=1:50,000

施工箇所

山梨県南巨摩郡身延町帯金地先



五十二号国道平面図

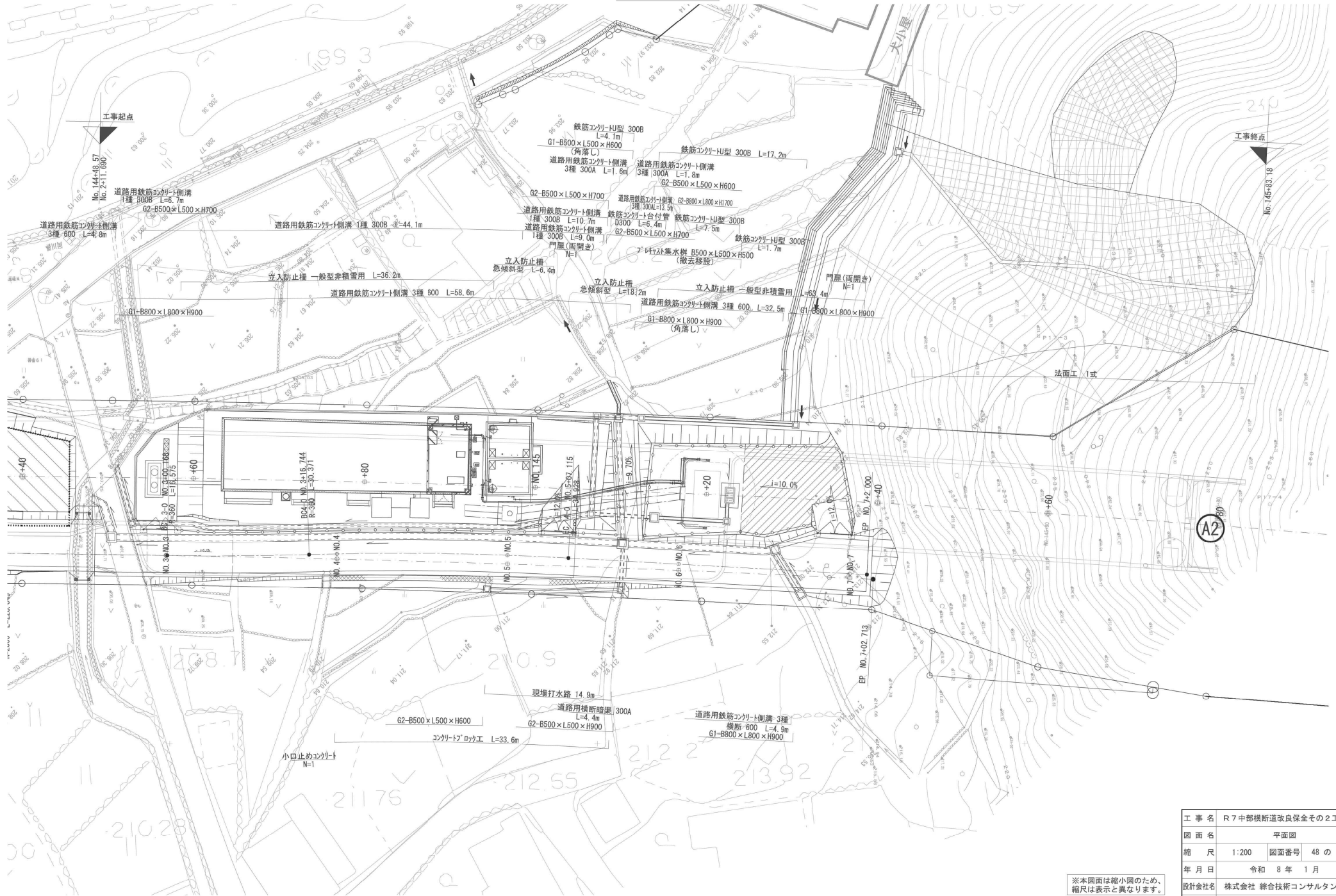
(二)

(身延町、富士川町)

工 事 名		R7 中部横断道改良保全その2 工事						
図 面 名		位置図						
縮 尺		1:50,000		図面番号		48 の 1		
年 月 日		令和 8 年 1 月						
設計会社名		株式会社 総合技術コンサルタント						
所		副		課		専		設
長		所		長		門		計
		長				官		
事務所名		国土交通省 甲府河川国道事務所						

平面図

S=1:200



※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R7中部横断道改良保その2工事		
図 面 名	平面図		
縮 尺	1:200	図面番号	48の2
年 月 日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

Y=-3900

X=-69500

X=-69400

線形図

Y=-3900

X=-69200

主要点	測 点	X座標	Y座標	要 素	距 離
機能補償道路(新規線形)					
BC 1-0	0+00.000	-69408.309344	-3766.067375		
BC 2-0	0+17.758	-69391.741487	-3768.452946	R=15.000	17.758
EBC 2-1	1+08.847	-69381.617977	-3772.324612	R=15.000	11.089
BC 3-0	3+00.168	-69350.298606	-3771.991624	R=2500.000	31.321
BC 4-0	3+16.744	-69333.725152	-3772.093142	R=360.000	16.575
EC 4-0	5+07.115	-69303.365780	-3771.697371	R=360.000	30.371
EP	7+02.000	-69268.533576	-3769.772072	R=∞	34.885

主要点	測 点	X座標	Y座標	要 素	距 離
中部横断道線形					
EC 10-0	139+57.313	-69849.908100	-3783.629100	R=∞	480.447
BC 11-0	144+37.760	-69369.467000	-3781.247300	R=2000.000	228.649
KA 12-1	146+66.409	-69141.383196	-3767.060536		

Y=-3800

Y=-3800

X=-69200

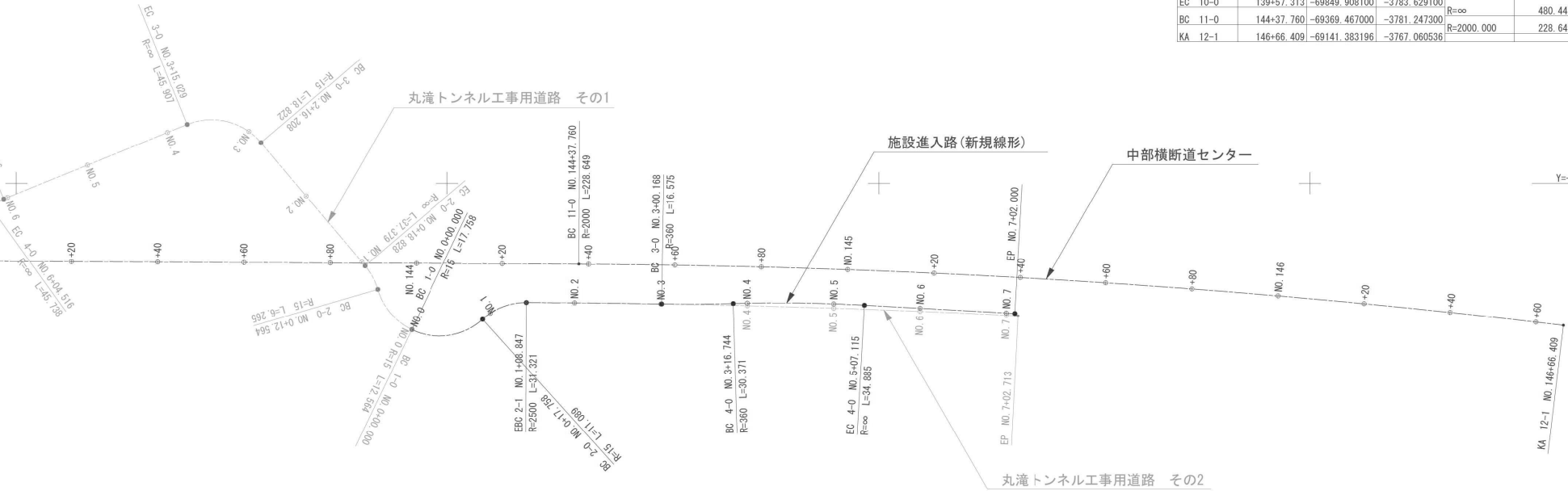
Y=-3700

Y=-3700

X=-69200

主要点	測 点	X座標	Y座標	要 素	距 離
丸滝トンネル工事用道路 その1					
BC 1-0	0+00.000	-69408.309344	-3766.067375	R=15.000	12.564
BC 2-0	0+12.564	-69416.197328	-3775.373742	R=15.000	6.265
EC 2-0	0+18.828	-69419.141517	-3780.852103	R=∞	37.379
BC 3-0	2+16.208	-69443.277864	-3809.393946	R=15.000	18.822
EC 3-0	3+15.029	-69460.378240	-3813.604755	R=∞	45.907
BC 4-0	6+00.936	-69502.908206	-3796.323146	R=15.000	3.580
EC 4-0	6+04.516	-69506.033431	-3794.594281	R=∞	45.738
BC 5-0	8+10.255	-69543.135263	-3767.846794	R=15.000	13.258
EC 5-0	9+03.512	-69549.334196	-3756.613279	R=∞	58.343
EC 6-0	12+01.855	-69552.967727	-3698.383705	R=∞	69.346
EC 7-0	15+11.201	-69523.511687	-3635.604472	R=∞	21.000
EC 8-0	16+12.201	-69542.523032	-3626.684341	R=∞	69.251
EC 9-0	20+01.452	-69571.938631	-3689.377382	R=∞	70.402
EC 10-0	23+11.854	-69586.343468	-3758.289897	R=∞	40.652
EP	25+12.506	-69586.142097	-3798.941646		

主要点	測 点	X座標	Y座標	要 素	距 離
丸滝トンネル工事用道路 その2					
BC 1-0	0+00.000	-69408.309344	-3766.067375	R=15.000	17.758
BC 2-0	0+17.758	-69391.741487	-3768.452946	R=15.000	11.089
EBC 2-1	1+08.847	-69381.617977	-3772.324612	R=2500.000	113.866
EP	7+02.713	-69267.804205	-3769.234896		



X=-69500

X=-69400

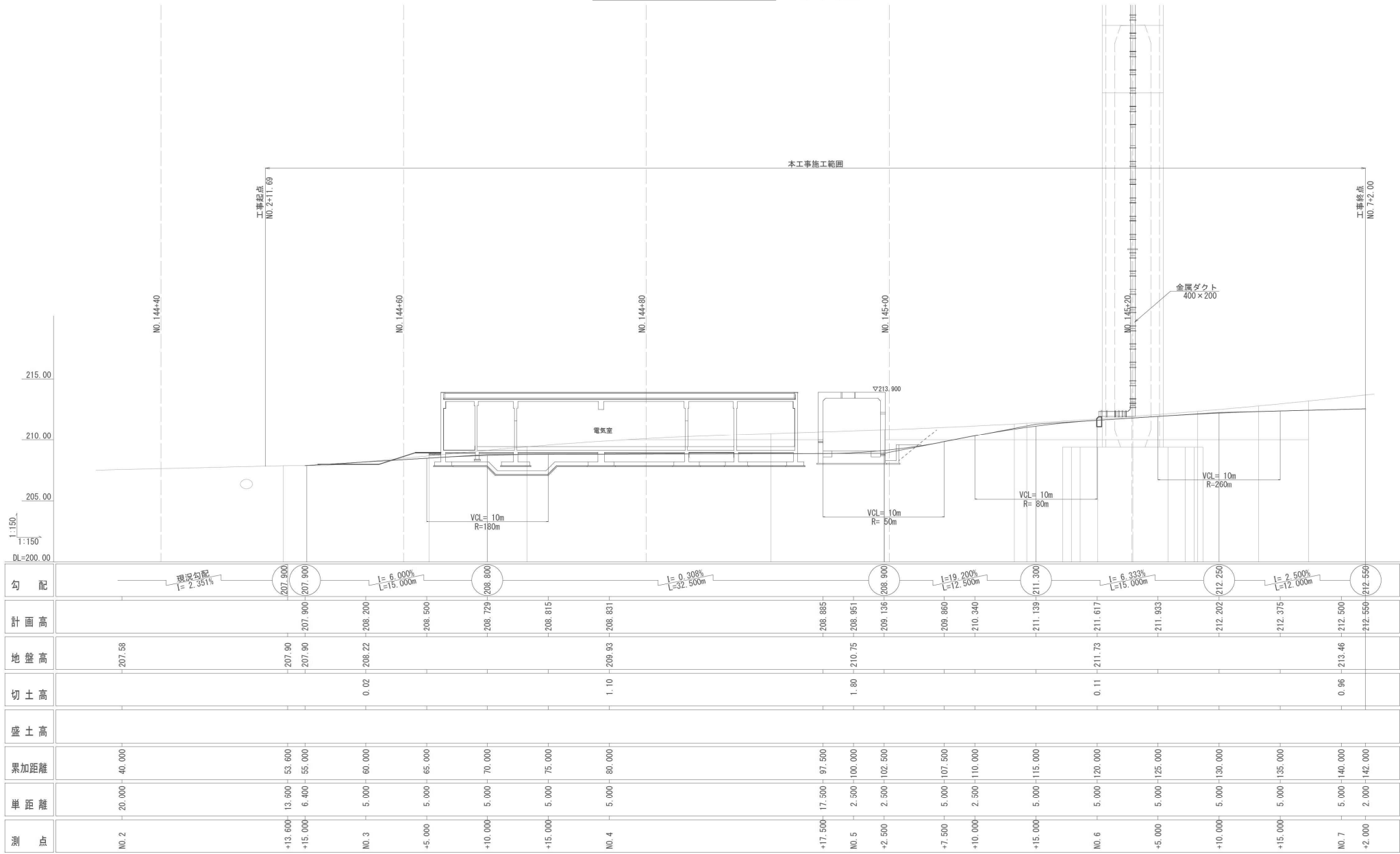
X=-69200

X=-69200

工 事 名	R 7 中部横断道改良保その2工事		
図 面 名	線形図		
縮 尺	—	図面番号	48 の 3
年 月 日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

縦断面図

S=1:150

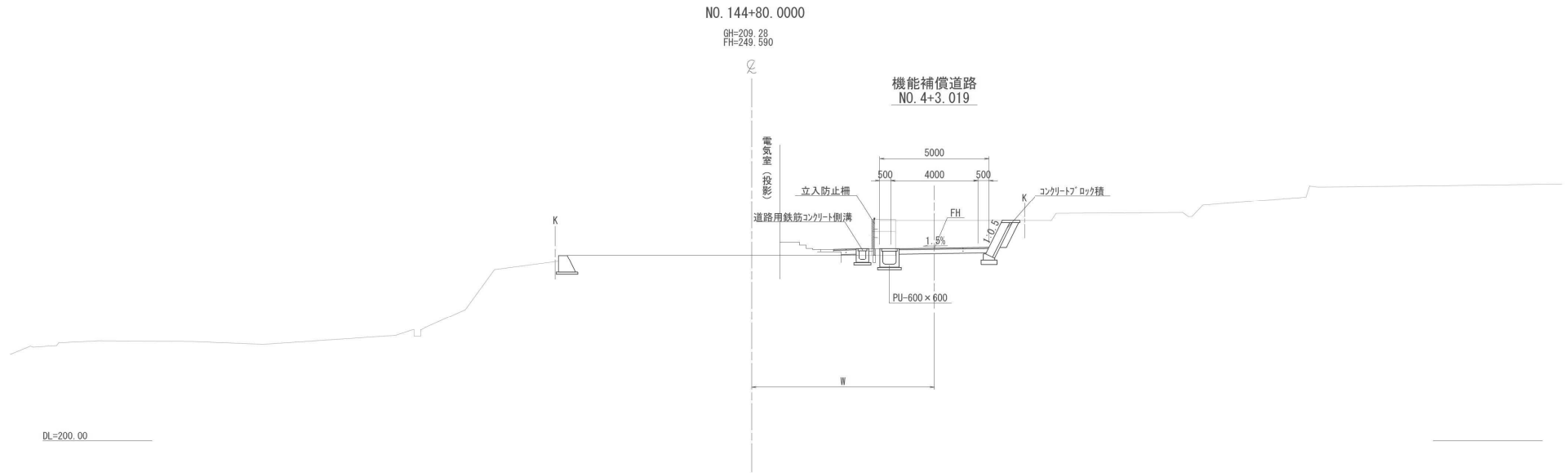


工 事 名	R7 中部横断道改良保全その2工事		
図 面 名	縦断面図		
縮 尺	1:150	図面番号	48 の 4
年 月 日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

標準横断面図

S=1:100



工 事 名	R7 中部横断道改良保全その2工事		
図 面 名	標準横断面図		
縮 尺	1:100	図面番号	48 の 5
年 月 日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

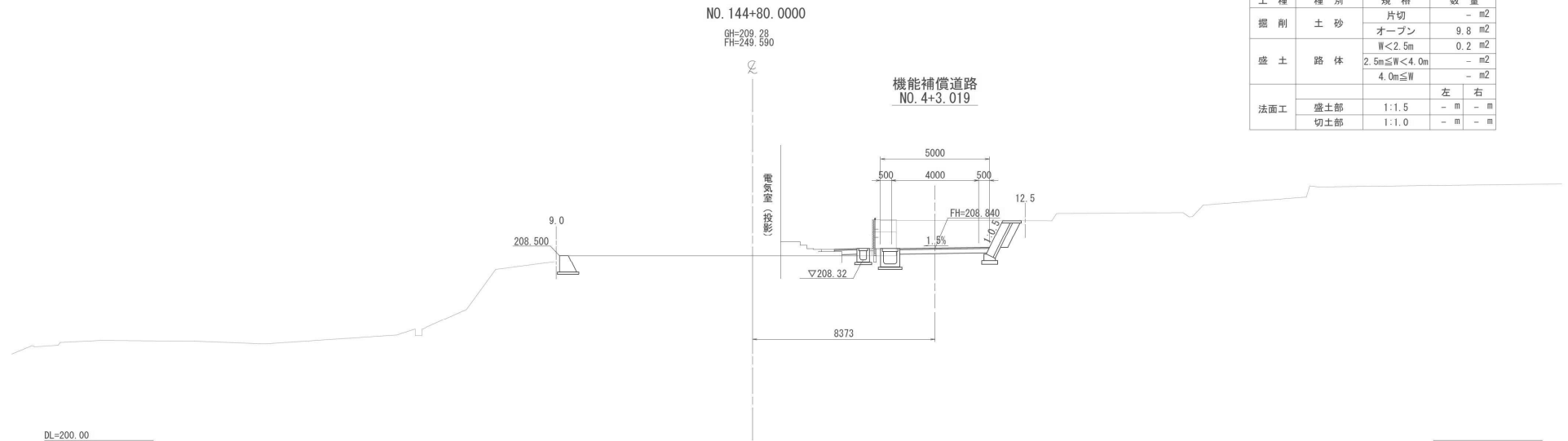
※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

横断面（１）

S=1:100

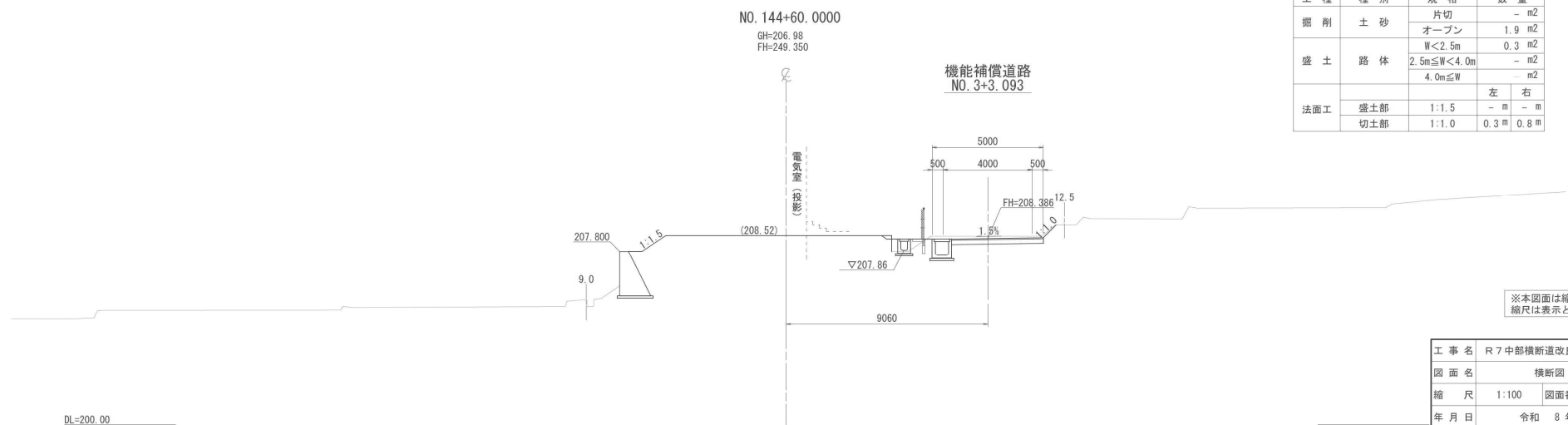
数量表

工種	種別	規格	数量	
掘削	土砂	片切	- m2	
		オープン	9.8 m2	
		W<2.5m	0.2 m2	
盛土	路体	2.5m≦W<4.0m	- m2	
		4.0m≦W	- m2	
			左	右
法面工	盛土部	1:1.5	- m	- m
	切土部	1:1.0	- m	- m



数量表

工種	種別	規格	数量	
掘削	土砂	片切	- m2	
		オープン	1.9 m2	
		W<2.5m	0.3 m2	
盛土	路体	2.5m≦W<4.0m	- m2	
		4.0m≦W	- m2	
			左	右
法面工	盛土部	1:1.5	- m	- m
	切土部	1:1.0	0.3 m	0.8 m

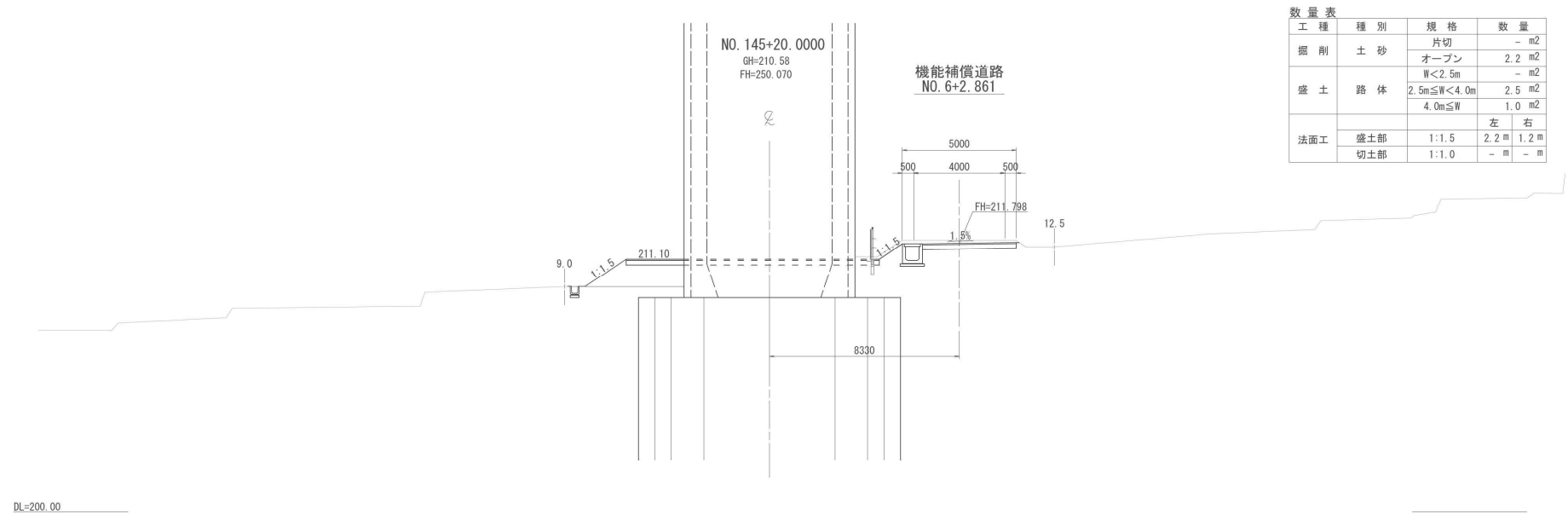


※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工事名	R7中部横断道改良保全その2工事		
図面名	横断面（１）		
縮尺	1:100	図面番号	48の6
年月日	令和8年1月		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

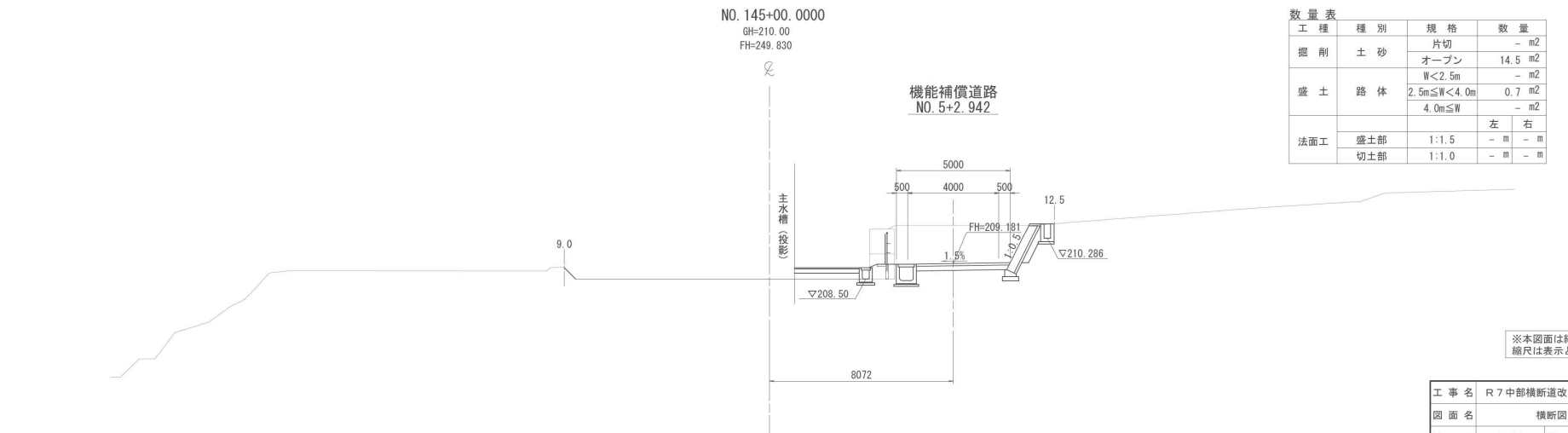
横断面図（2）

S=1:100



数量表

工種	種別	規格	数量
掘削	土砂	片切	- m ²
		オープン	2.2 m ²
		W<2.5m	- m ²
盛土	路体	2.5m≤W<4.0m	2.5 m ²
		4.0m≤W	1.0 m ²
法面工	盛土部	1:1.5	2.2 m 1.2 m
	切土部	1:1.0	- m - m



数量表

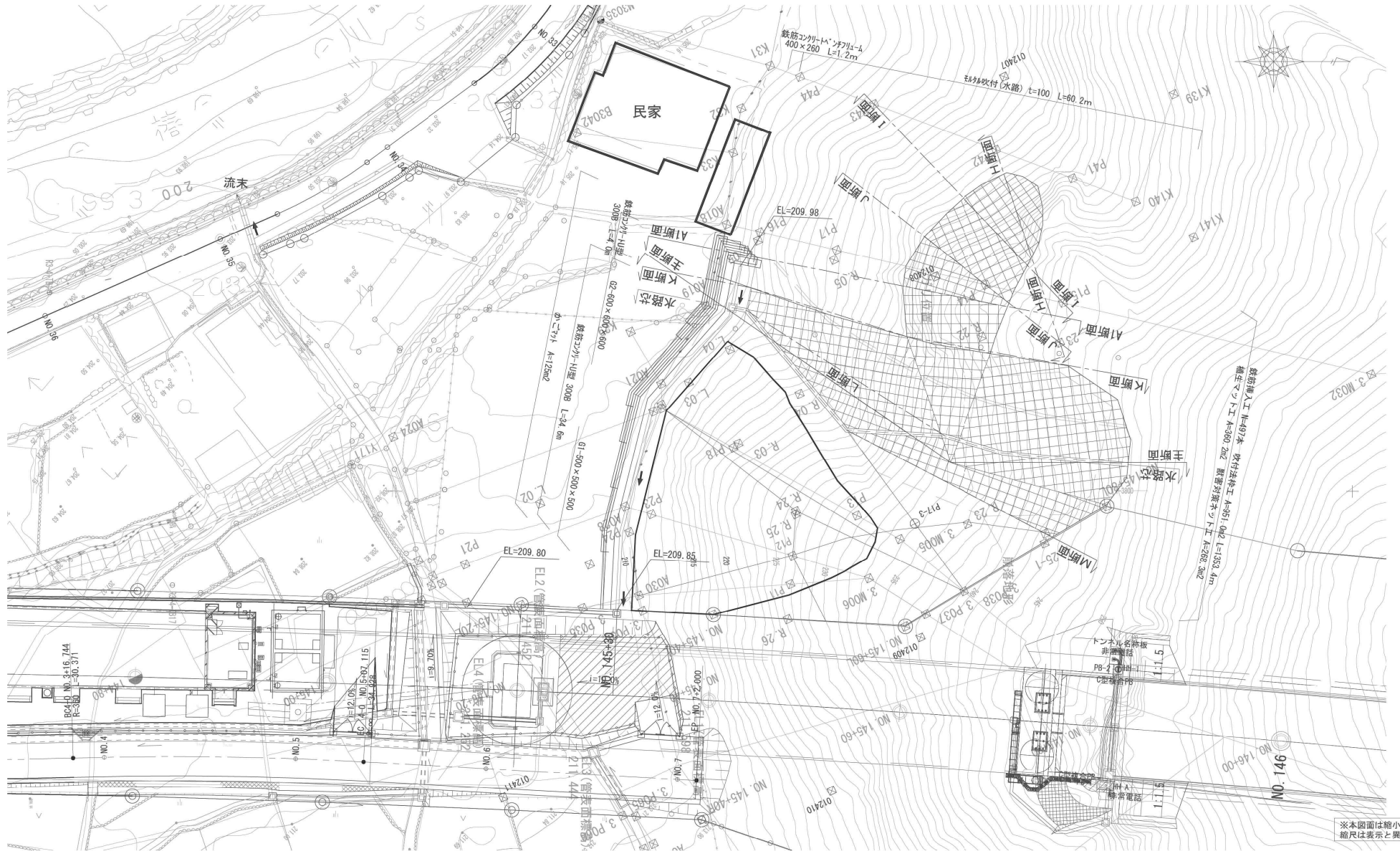
工種	種別	規格	数量
掘削	土砂	片切	- m ²
		オープン	14.5 m ²
		W<2.5m	- m ²
盛土	路体	2.5m≤W<4.0m	0.7 m ²
		4.0m≤W	- m ²
法面工	盛土部	1:1.5	- m - m
	切土部	1:1.0	- m - m

※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工事名	R7中部横断道改良安全その2工事		
図面名	横断面図（2）		
縮尺	1:100	図面番号	48の7
年月日	令和8年1月		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

法面工平面図

S=1:200

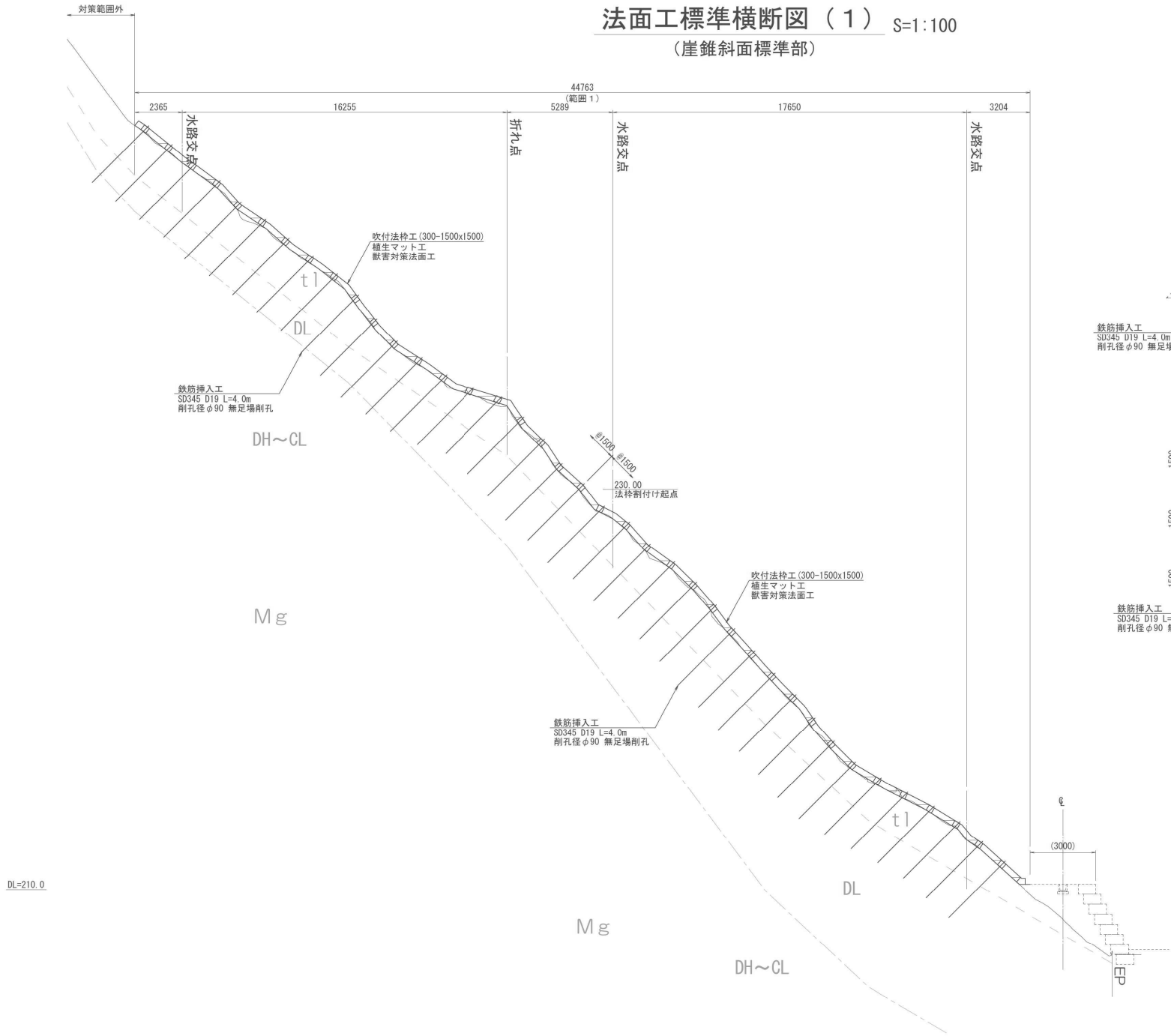


注2) K断面付近の斜面中腹部に落石対策工（ロープ伏工想定）が設置されていると考えられるが、詳細な位置が特定できないため、それを考慮せず法特工を配置している。施工時に位置を確認し浮石除去後に法特工を施工するなど対応すること。
なお、法特工の施工が困難な場合は、ロープ伏工に対応する等の対策が必要である。
注3) 残置されているインクライン支持杭と法杭が干渉する場合は、支持杭天端を切断する等に対応すること。

注1) 本図に示す対策範囲、コンター線については、現地との差異が生じている可能性があるため、施工に際しては事前の現地調査を行ったうえで現設計における対策工計画の全域への適用性を確認しておくこと。
なお、適用が困難な箇所については、現地に最適となるような法枠配置等の変更が必要である。

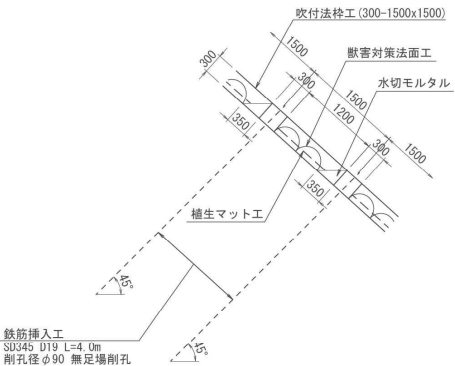
工 事 名	R7中部横断道改良保全その2工事		
図 面 名	法面工平面図		
縮 尺	1:200	図面番号	48の8
年 月 日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

法面工標準横断面図（１） S=1:100
（崖錐斜面標準部）

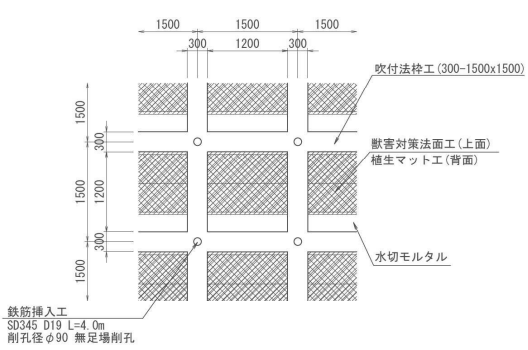


標準配置図

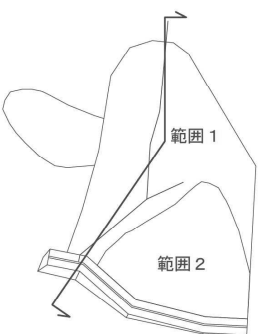
断面図



平面図



断面位置



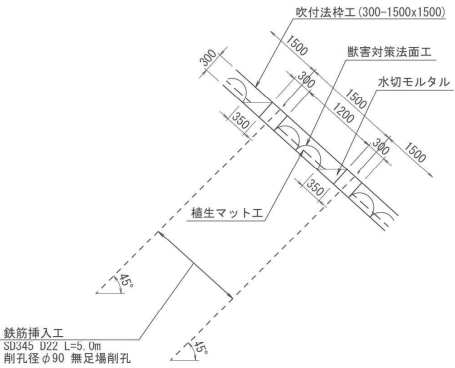
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R7中部横断道改良保全その2工事		
図面名	法面工標準横断面図（１）		
縮尺	1:100	図面番号	48の9
年月日	令和 8年 1月		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

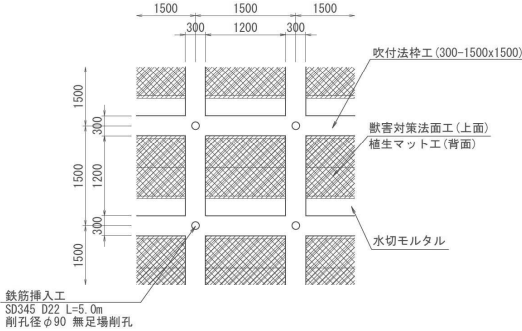
法面工標準横断図（２） S=1:100
(崖錐斜面急傾斜部)

標準配置図

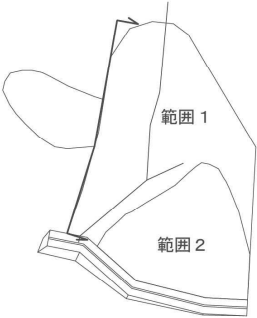
断面図



平面図

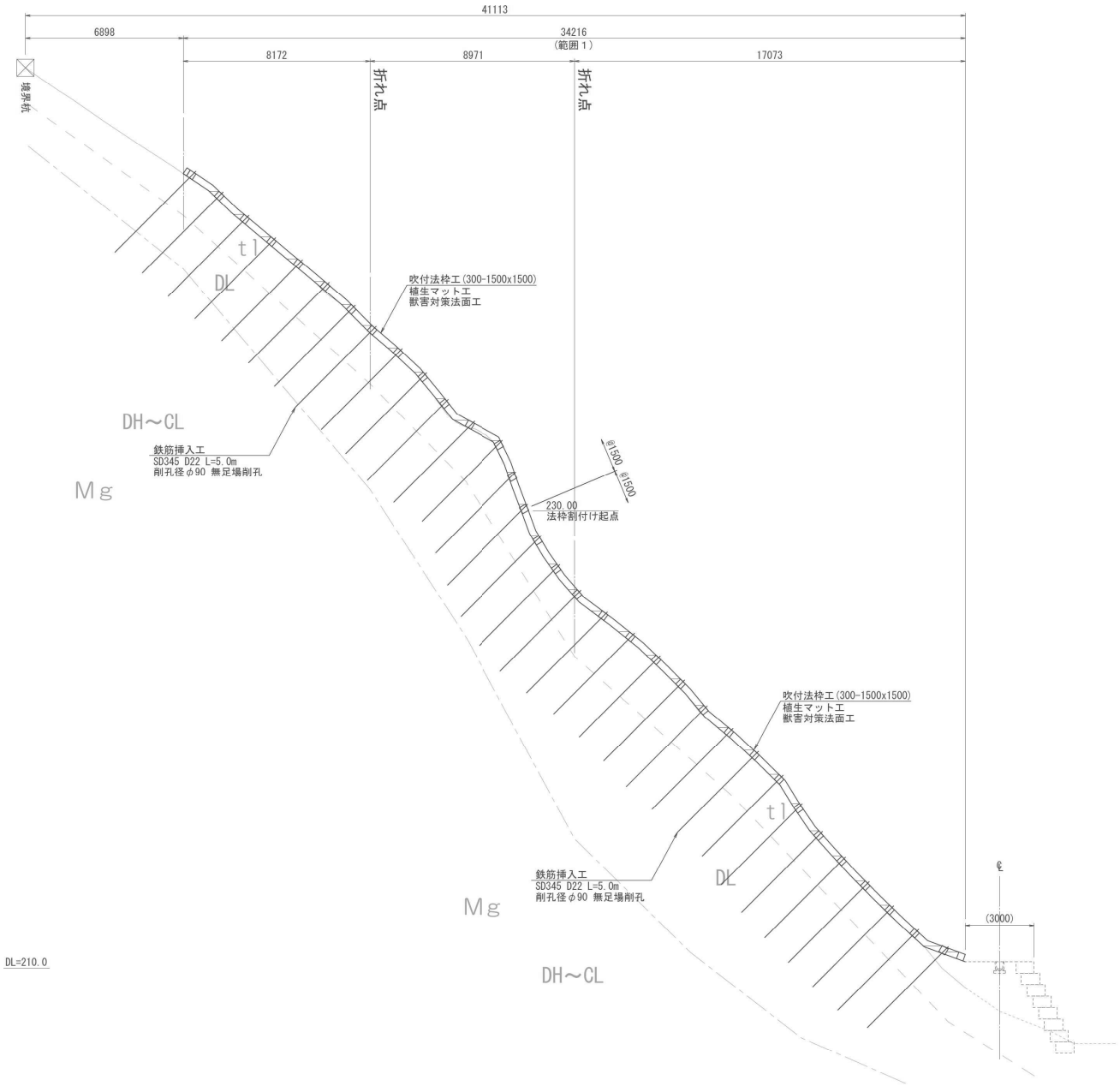


断面位置

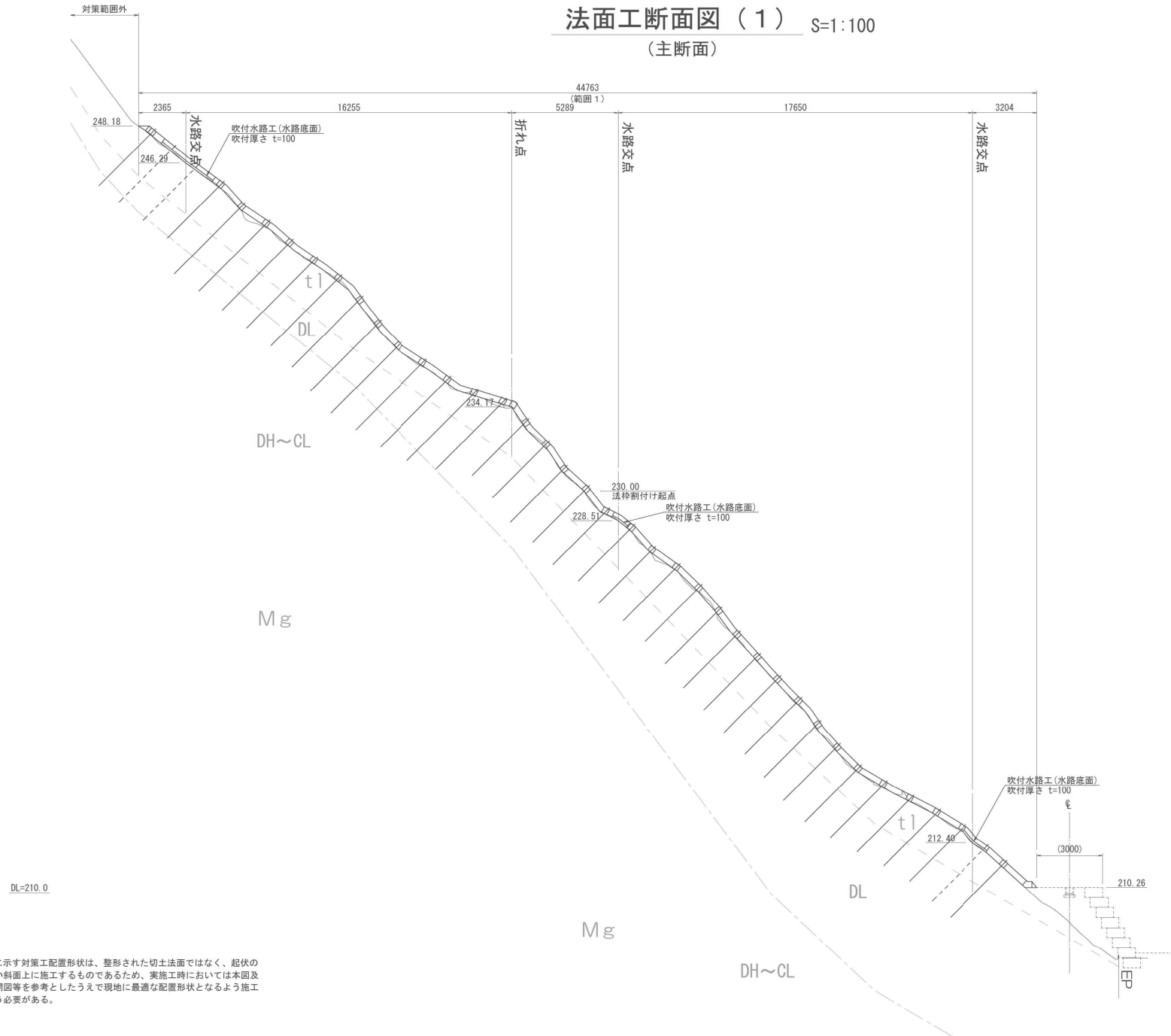


※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

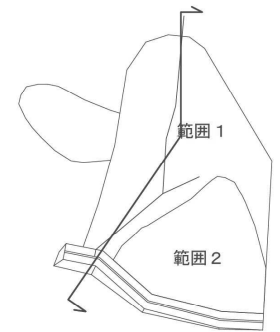
工 事 名	R7 中部横断道改良安全その2工事		
図 面 名	法面工標準横断図（２）		
縮 尺	1:100	図面番号	48 の 10
年 月 日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		



法面工断面図 (1) S=1:100
(主断面)



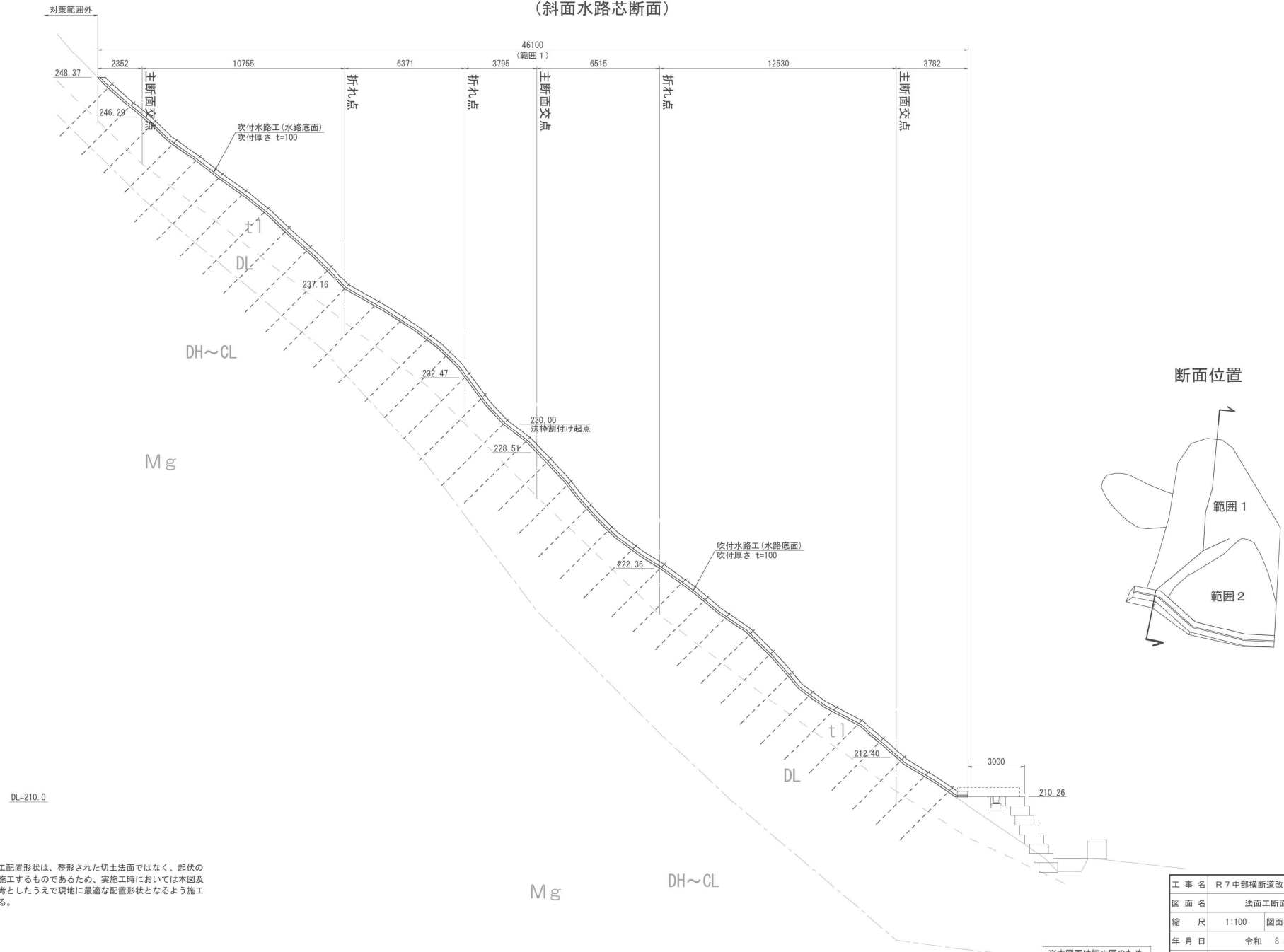
断面位置



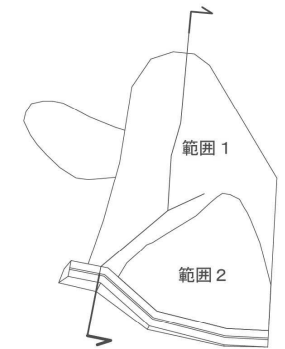
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R7中部横断道改良安全その2工事		
図 面 名	法面工断面図 (1)		
縮 尺	1:100	図面番号	48 の 11
年 月 日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

法面工断面図（2） S=1:100
（斜面水路芯断面）



断面位置

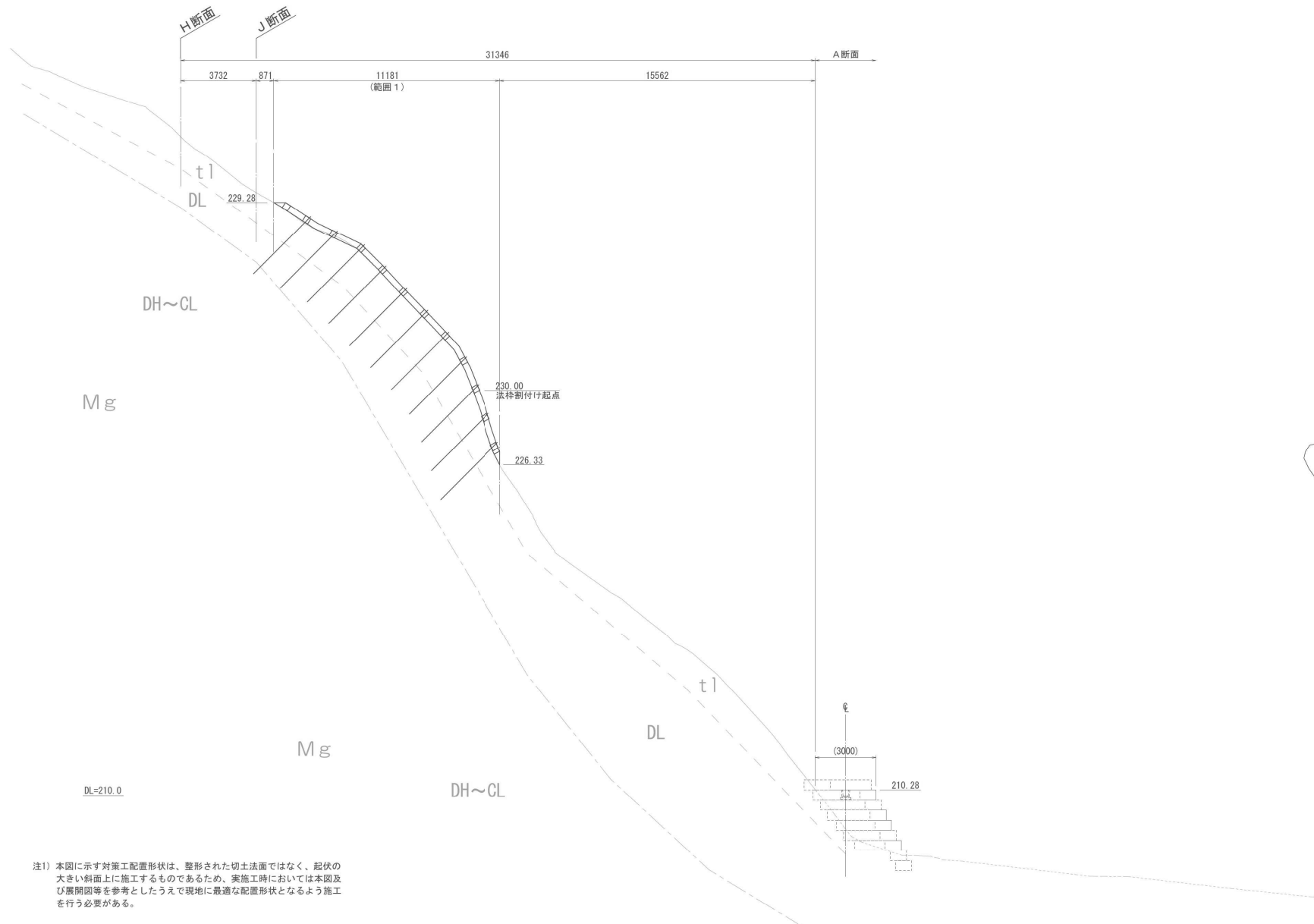


注1) 本図に示す対策工配置形状は、整形された切土法面ではなく、起伏の大きい斜面上に施工するものであるため、実施施工時には本図及び展開図等を参考としまして現地に最適な配置形状となるよう施工を行う必要がある。

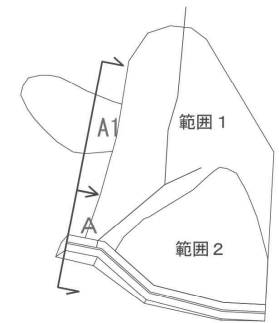
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R7中部横断道改良保全その2工事		
図 面 名	法面工断面図（2）		
縮 尺	1:100	図面番号	48の12
年 月 日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

法面工断面図 (3) S=1:100
(A 1 断面)



断面位置

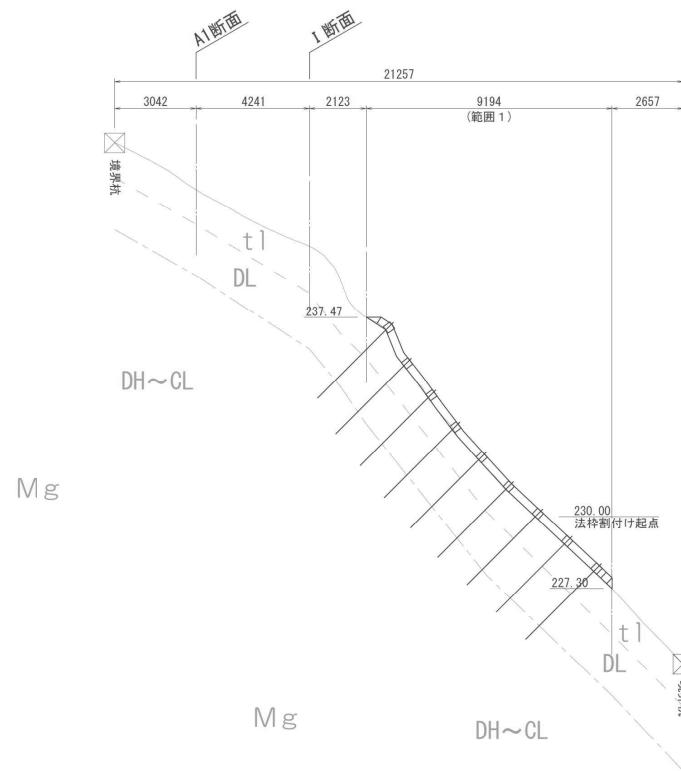


注1) 本図に示す対策工配置形状は、整形された切土法面ではなく、起伏の大きい斜面上に施工するものであるため、実施施工時には本図及び展開図等を参考としたうえで現地に最適な配置形状となるよう施工を行う必要がある。

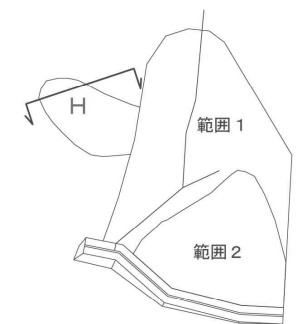
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R 7 中部横断道改良保全その 2 工事		
図 面 名	法面工断面図 (3)		
縮 尺	1:100	図面番号	48 の 13
年 月 日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

法面工断面図（４） S=1:100
（H断面）



断面位置



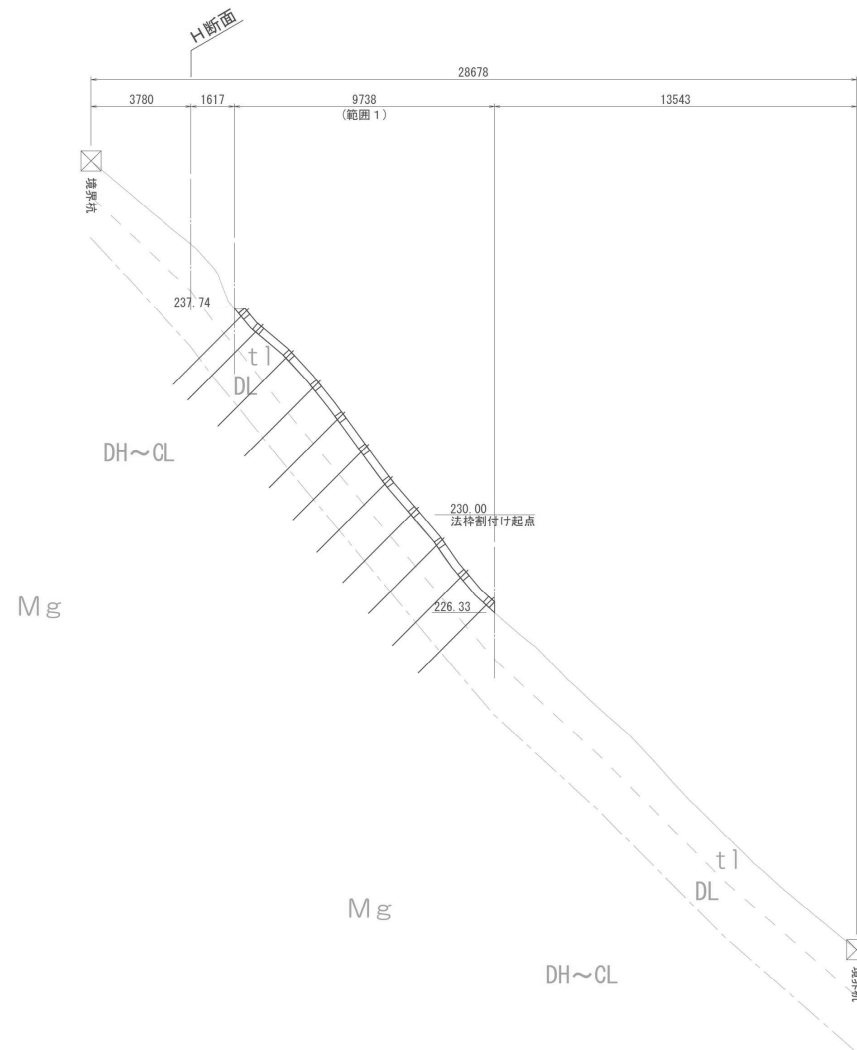
DL=210.0

注1) 本図に示す対策工配置形状は、整形された切土法面ではなく、起伏の大きい斜面上に施工するものであるため、実施工時には本図及び展開図等を参考としたうえで現地に最適な配置形状となるよう施工を行う必要がある。

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

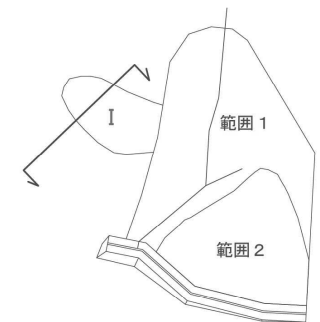
工 事 名	R7中部横断道改良保全その2工事		
図 面 名	法面工断面図（４）		
縮 尺	1:100	図面番号	48 の 14
年 月 日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

法面工断面図 (5) S=1:100
(I 断面)



DL=210.0

断面位置

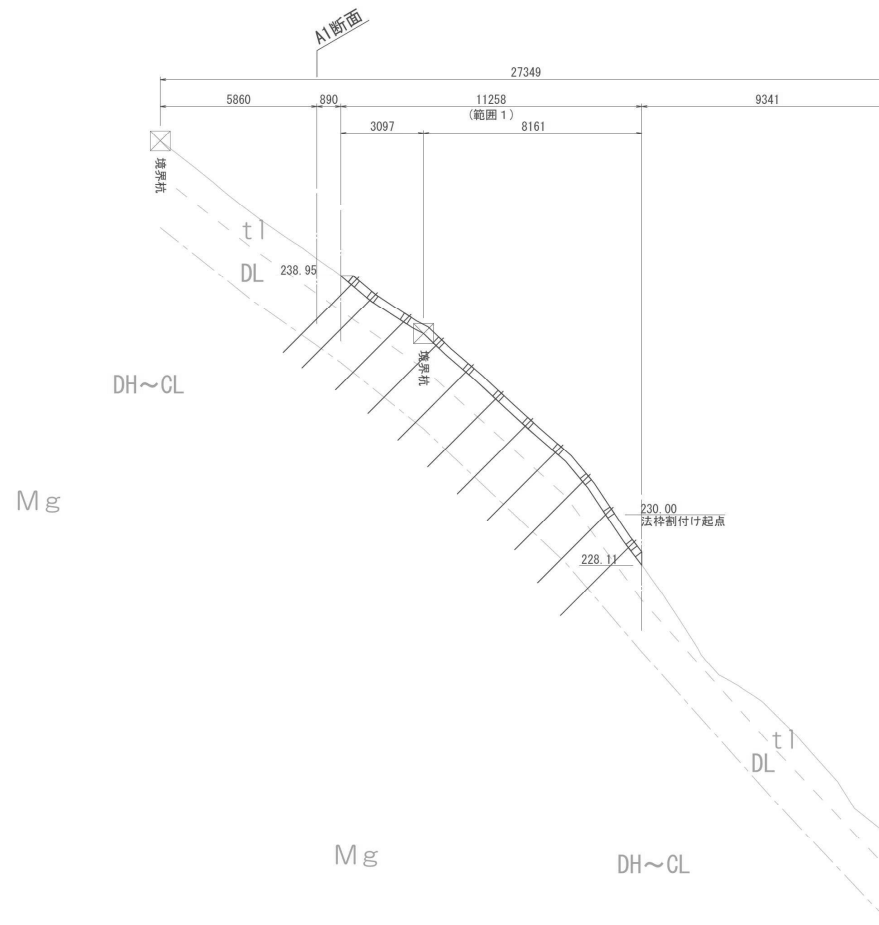


注1) 本図に示す対策工配置形状は、整形された切土法面ではなく、起伏の大きい斜面上に施工するものであるため、実施施工時には本図及び展開図等を参考としたうえで現地に最適な配置形状となるよう施工を行う必要がある。

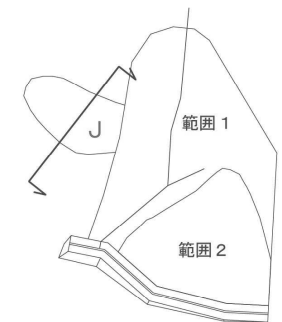
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R7中部横断道改良保全その2工事		
図 面 名	法面工断面図 (5)		
縮 尺	1:100	図面番号	48 の 15
年 月 日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

法面工断面図（6） S=1:100
（J断面）



断面位置



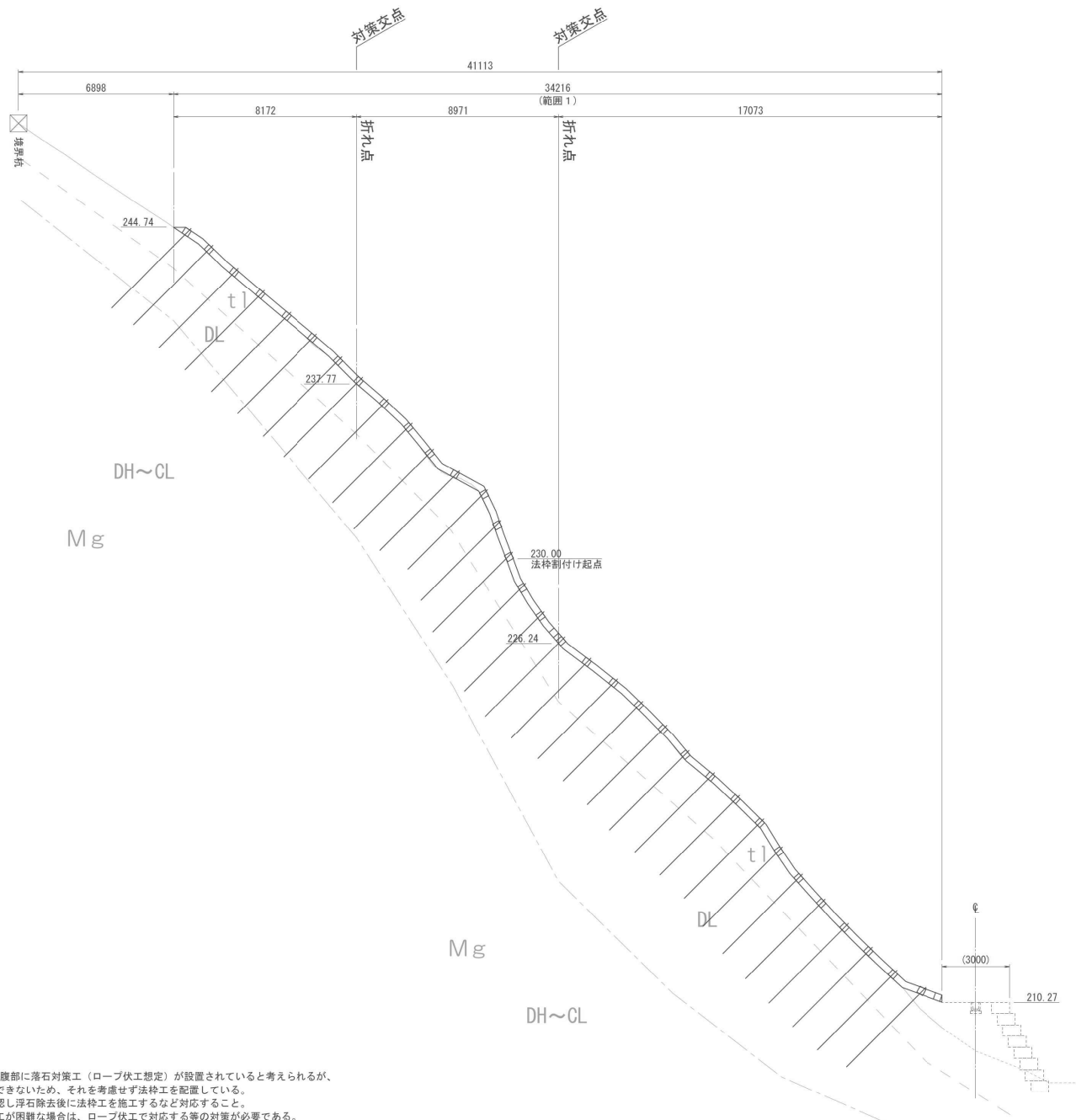
DL=210.0

注1) 本図に示す対策工配置形状は、整形された切土法面ではなく、起伏の大きい斜面上に施工するものであるため、実施工時には本図及び展開図等を参考としたうえで現地に最適な配置形状となるよう施工を行う必要がある。

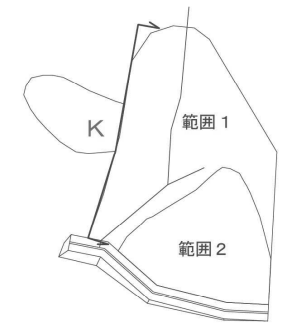
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R7中部横断道改良保全その2工事		
図 面 名	法面工断面図（6）		
縮 尺	1:100	図面番号	48 の 16
年 月 日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

法面工断面図（7） S=1:100
（K断面）



断面位置



注1) 本図に示す対策工配置形状は、整形された切土法面ではなく、起伏の大きい斜面上に施工するものであるため、実施工時には本図及び展開図等を参考としたうえで現地に最適な配置形状となるよう施工を行う必要がある。

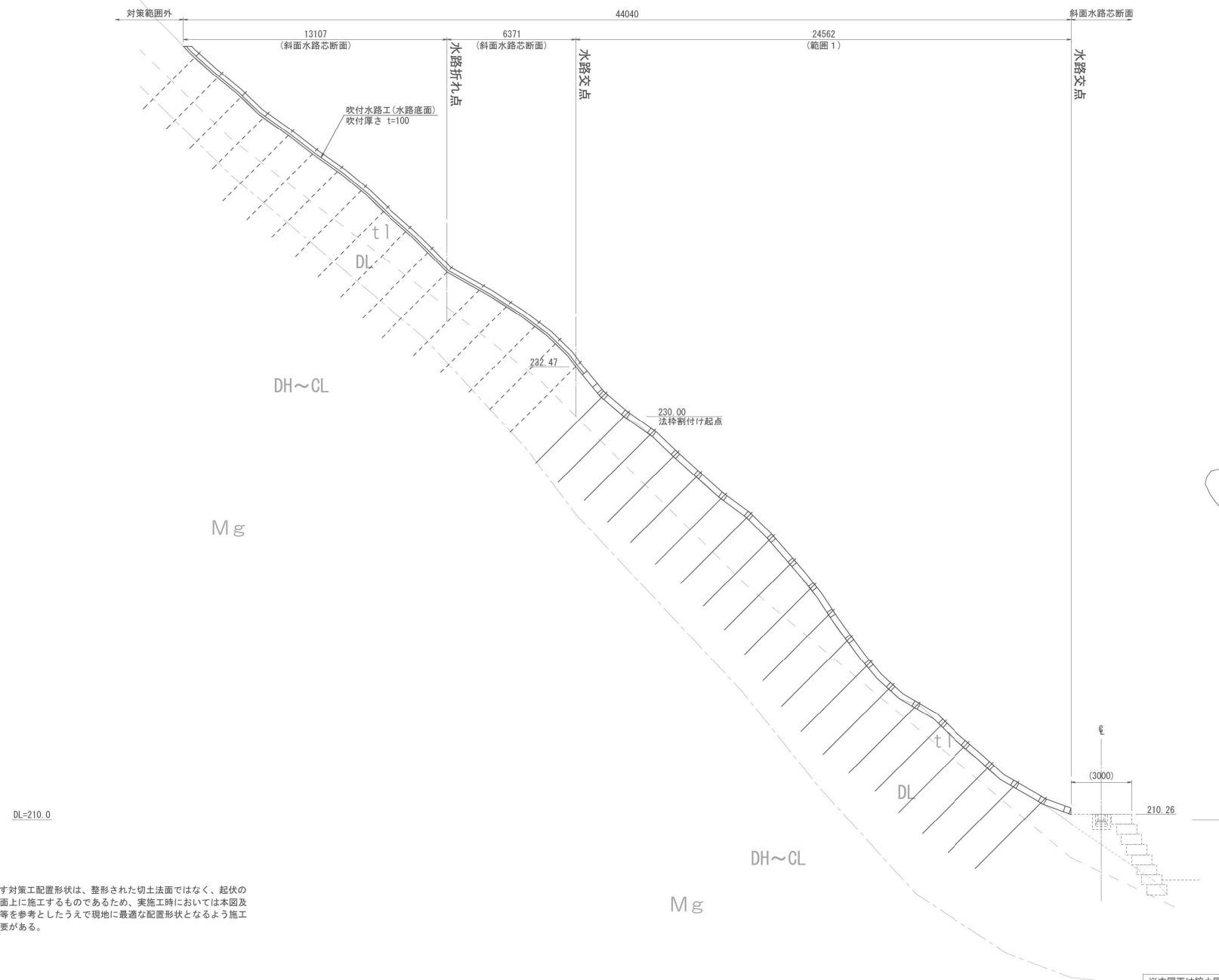
DL=210.0

注) K断面付近の斜面中腹部に落石対策工（ロープ伏工想定）が設置されていると考えられるが、詳細な位置が特定できないため、それを考慮せず法枠工を配置している。
施工時に位置を確認し浮石除去後に法枠工を施工するなど対応すること。
なお、法枠工の施工が困難な場合は、ロープ伏工で対応する等の対策が必要である。

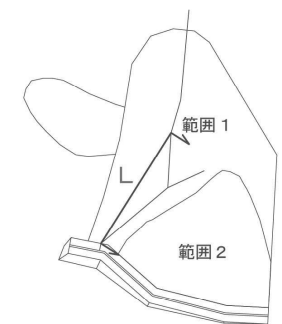
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R7中部横断道改良保全その2工事		
図 面 名	法面工断面図（7）		
縮 尺	1:100	図面番号	48 の 17
年 月 日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

法面工断面図 (8) S=1:100
(L 断面)



断面位置

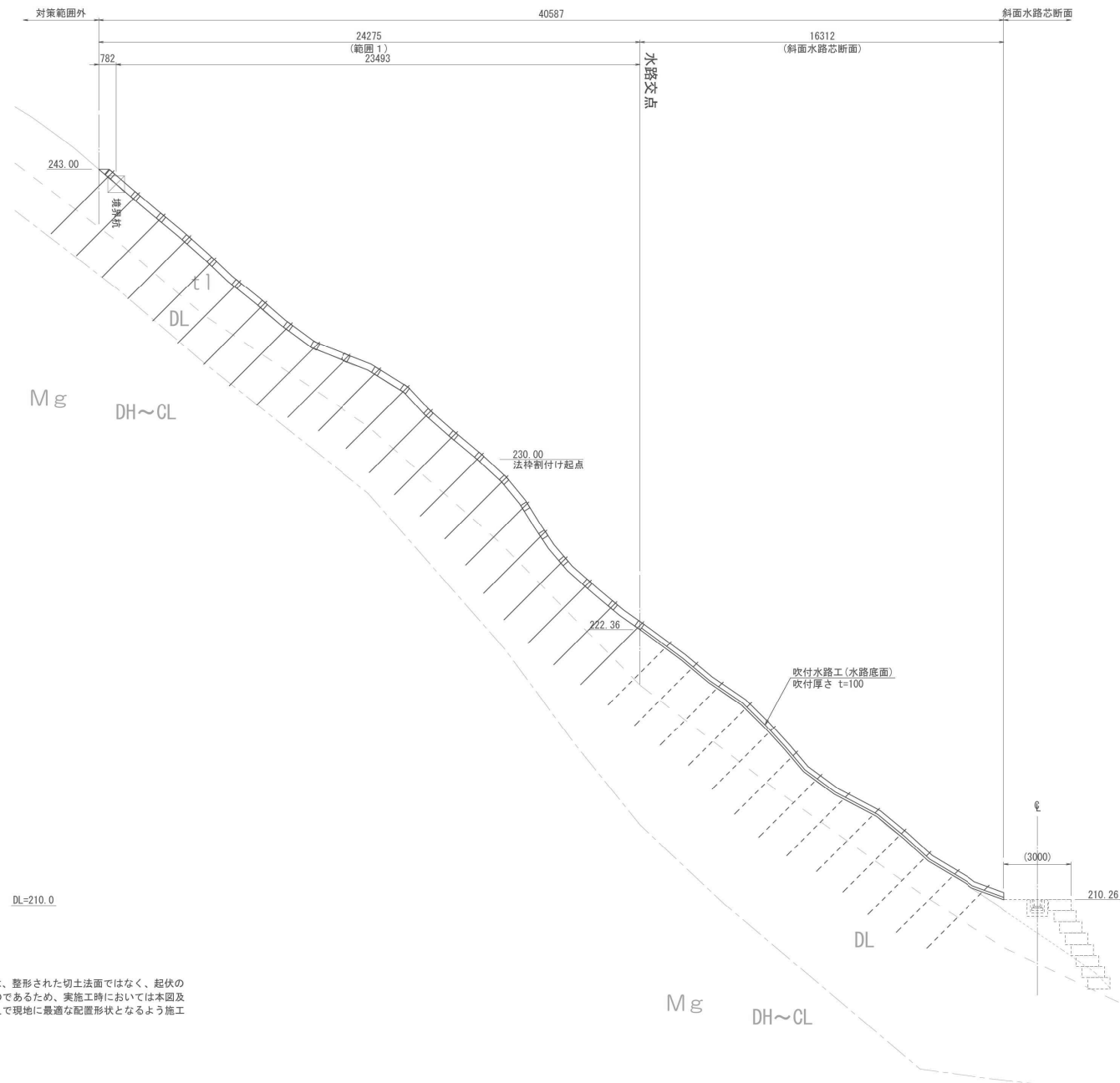


注1) 本図に示す対策工配置形状は、整形された切土法面ではなく、起伏の大きい斜面上に施工するものであるため、実施工時においては本図及び展開図等を参考としたうえで現地に最適な配置形状となるよう施工を行う必要がある。

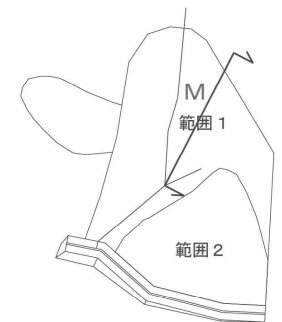
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R7中部横断道改良保全その2工事		
図 面 名	法面工断面図(8)		
縮 尺	1:100	図面番号	48 の 18
年 月 日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

法面工断面図 (9) S=1:100
(M断面)



断面位置

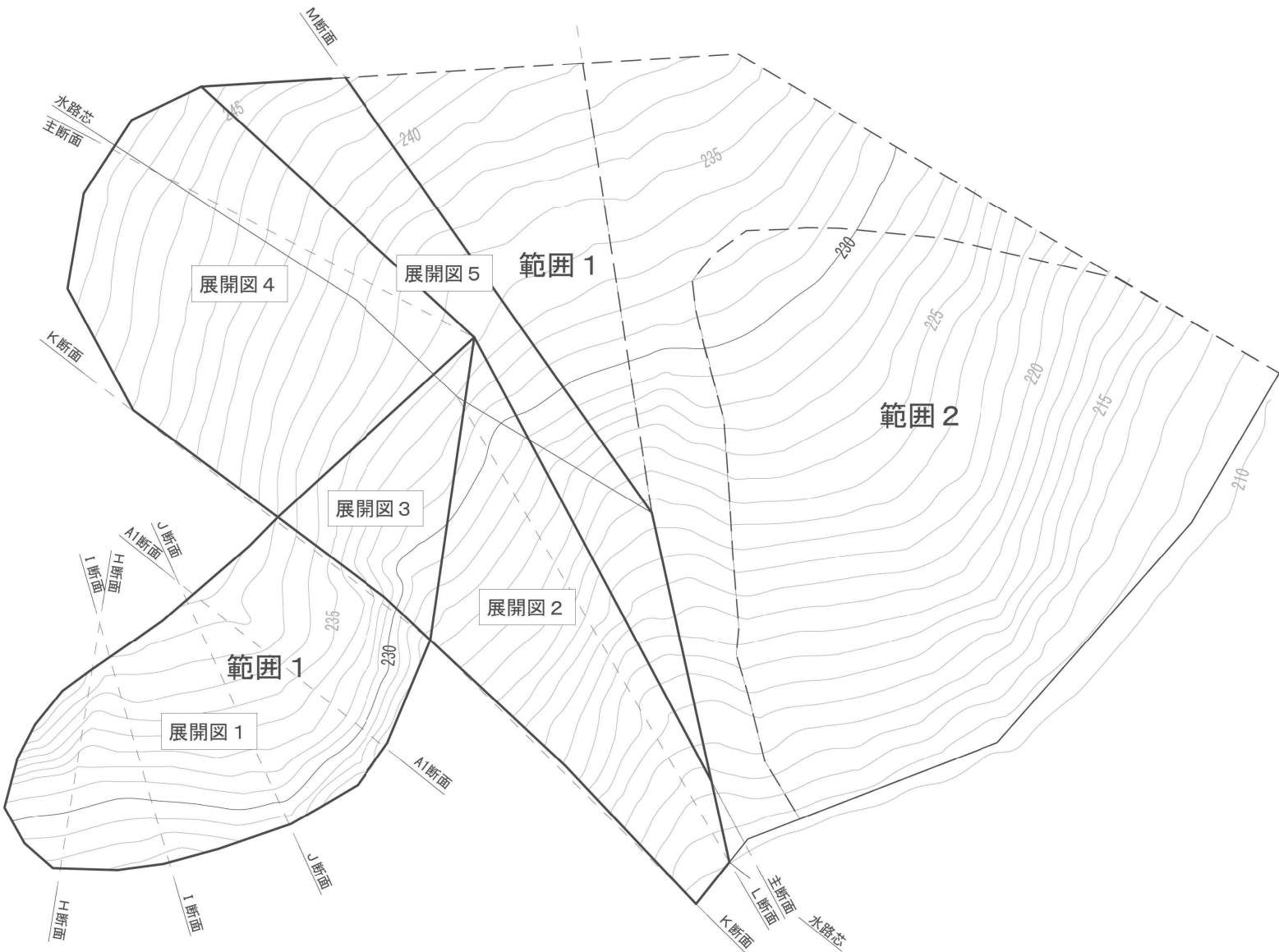


注1) 本図に示す対策工配置形状は、整形された切土法面ではなく、起伏の大きい斜面上に施工するものであるため、実施工時においては本図及び展開図等を参考としたうえで現地に最適な配置形状となるよう施工を行う必要がある。

※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R7中部横断道改良保全その2工事		
図 面 名	法面工断面図（9）		
縮 尺	1:100	図面番号	48 の 19
年 月 日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

法面工展開区分図 S=1:100

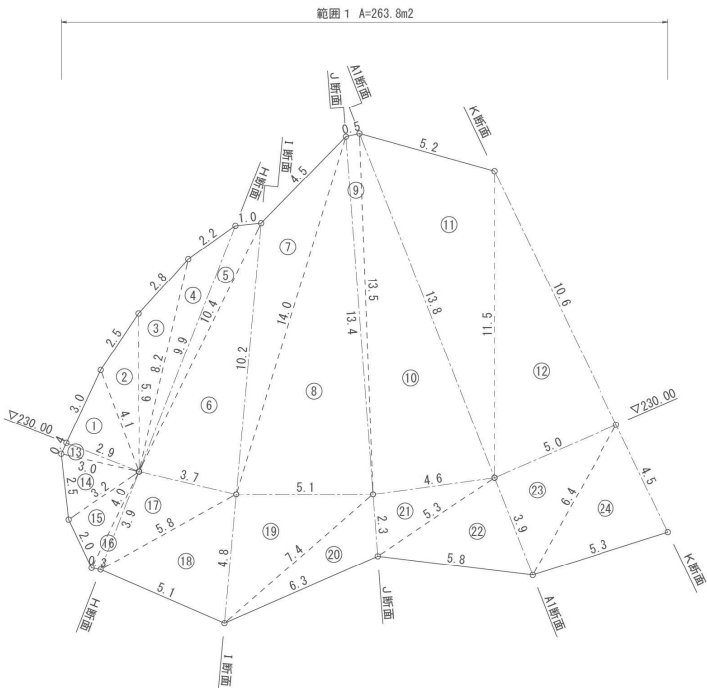


※本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

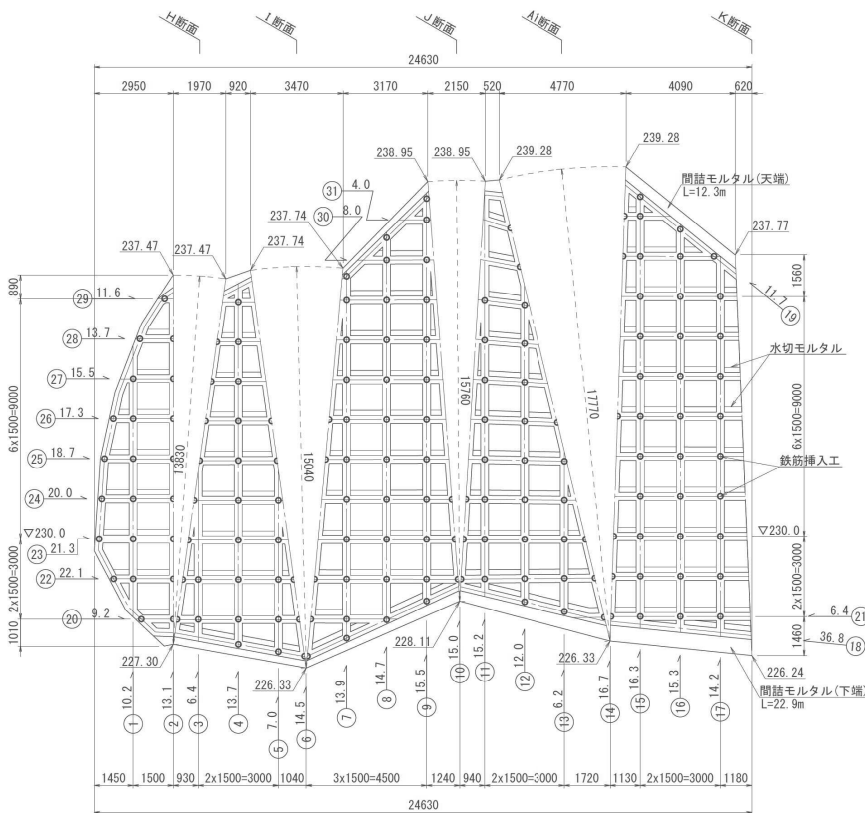
工 事 名	R7中部横断道改良安全その2工事		
図 面 名	法面工展開区分図		
縮 尺	1:100	図面番号	48 の 20
年 月 日	令和 8 年 1 月		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

法面工展開図（１） S=1:100

面積求積図 1



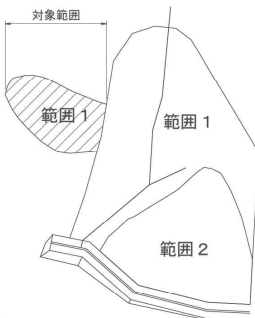
展開図 1



法面工数量表

種 別	数 量	摘 要
鉄筋挿入工 (φ90) L=5.0m	- 本	D22
吹付法枠工	142 本	D19
間詰モルタル	263.8 m²	
水切モルタル	379.2 m	
補生マット工 (獣害対策工併用)	35.2 m	
ラス張り工	133.3 m	
	91.1 m²	※法枠内
	263.8 m²	

展開図位置



法枠工数量表

種 別	計 算 式	単 位	数 量
吹付法枠	枠幅 b=0.300m、 枠高 h=0.300m		
縦枠長	La = 268.4m (1 ~ 19 の合計)	m	268.4
横枠長	Lb = 167.8m (20 ~ 31 の合計)	m	167.8
小計	Lo = La+Lb	m	436.2
交点数 (控除)	N = 190.0ヶ所	ヶ所	190.0
総延長	L = Lo-b×N	m	379.2

鉄筋挿入工凡例

●	L=5.0m
○	L=4.0m

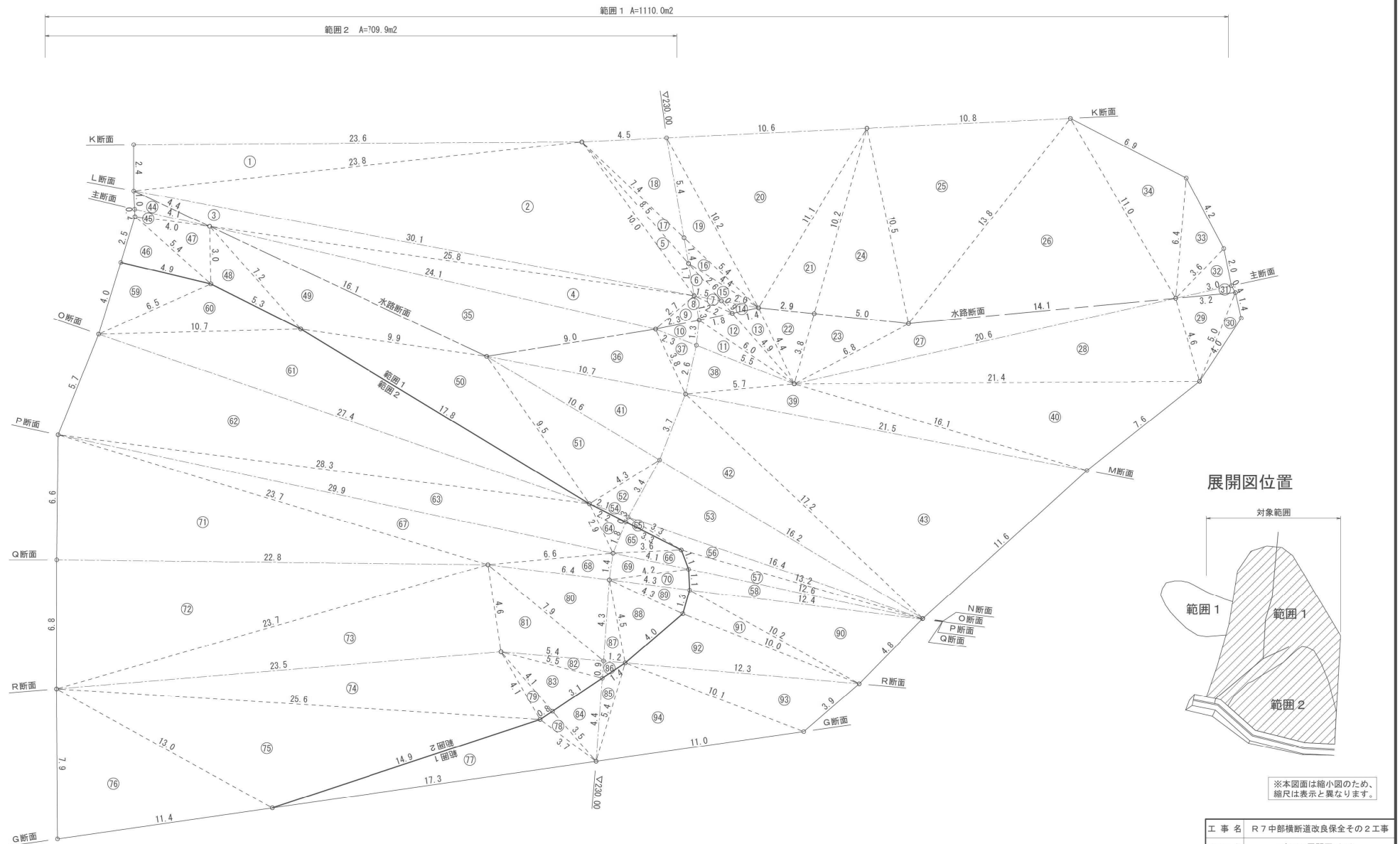
※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

注1) 本図と現地の差異により配置変更が生じる場合は、安全側の割付けとなるような配置調整を行うこと。※対策工 (補強材等) の数量 (密度) 不足に注意。
また、斜面の凹凸により生じる法枠線形の影響により、鉄筋挿入工の補強材先端 (地中側) が干渉 (接近) する箇所については事前確認しておき対応を検討すること。
※法枠配置調整、鉄筋挿入工の打設角度調整、法枠枠内への受圧板設置等の対応。

工 事 名	R7 中部横断道改良安全その2工事
図 面 名	法面工展開図 (1)
縮 尺	1:100 図面番号 48 の 21
年 月 日	令和 8 年 1 月
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所

法面工展開図（2） S=1:100

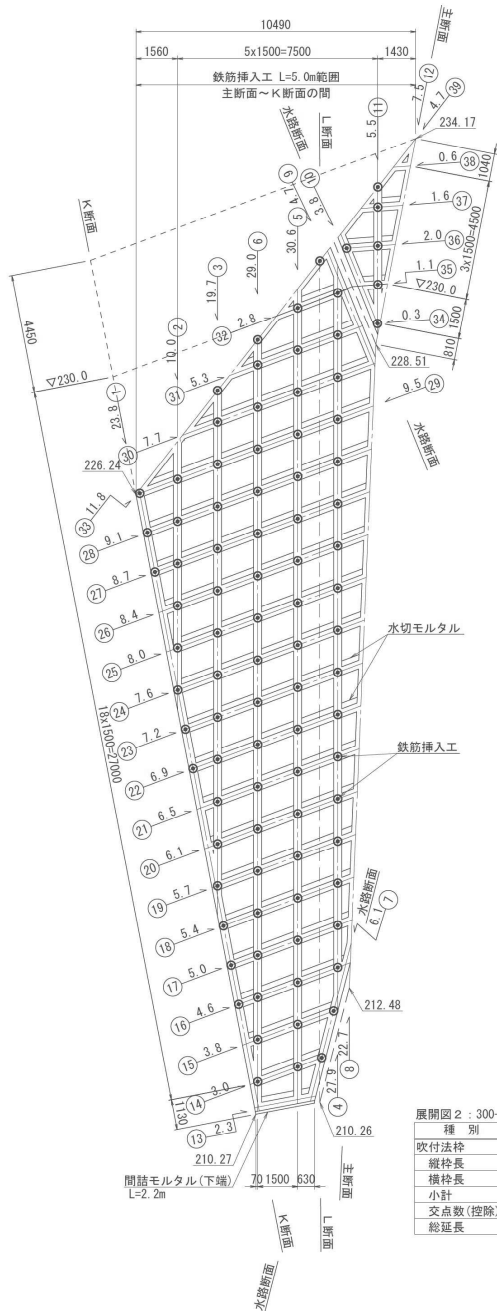
面積求積図2



工事名	R7中部横断道改良安全その2工事		
図面名	法面工展開図（2）		
縮尺	1:100	図面番号	48の22
年月日	令和8年1月		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

法面工展開図（3） S=1:100

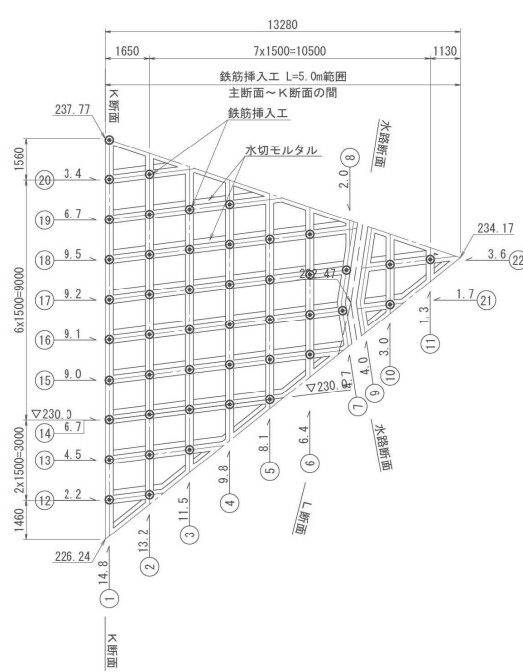
展開図2



法枠工数量表

種別	計算式	単位	数量
吹付法枠	枠幅 b=0.300m、枠高 h=0.300m		
縦枠長	La = 191.3m (1 ~ 12 の合計)	m	191.3
横枠長	Lb = 145.7m (13 ~ 39 の合計)	m	145.7
小計	Lo = La+Lb	m	337.0
交点数(控除)	N = 124.5ヶ所	ヶ所	124.5
総延長	L = Lo-b×N	m	299.7

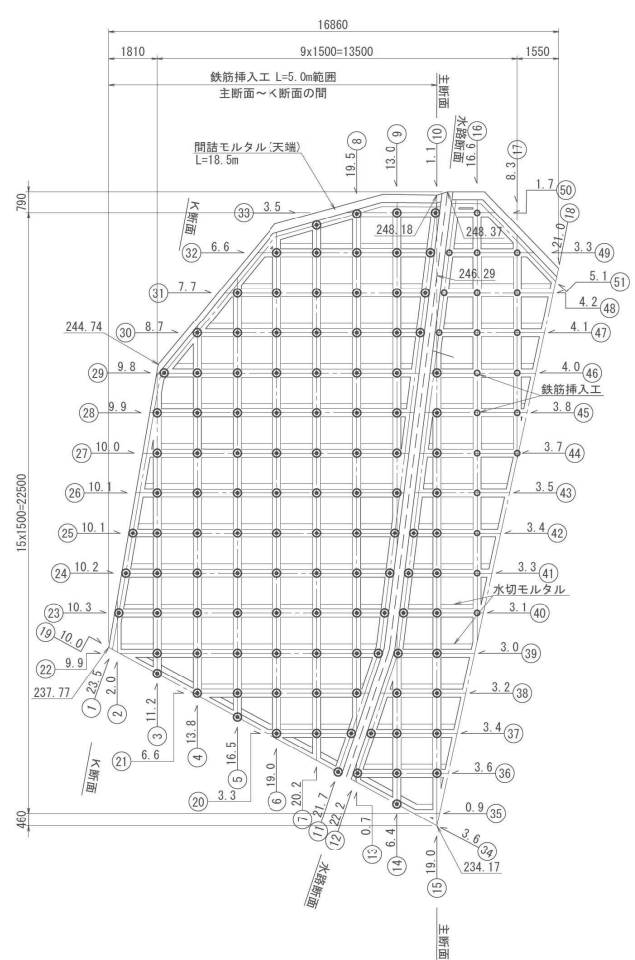
展開図3



法枠工数量表

種別	計算式	単位	数量
吹付法枠	枠幅 b=0.300m、枠高 h=0.300m		
縦枠長	La = 78.8m (1 ~ 11 の合計)	m	78.8
横枠長	Lb = 65.6m (12 ~ 22 の合計)	m	65.6
小計	Lo = La+Lb	m	144.4
交点数(控除)	N = 68.0ヶ所	ヶ所	68.0
総延長	L = Lo-b×N	m	124.0

展開図4



法枠工数量表

種別	計算式	単位	数量
吹付法枠	枠幅 b=0.300m、枠高 h=0.300m		
縦枠長	La = 255.7m (1 ~ 18 の合計)	m	255.7
横枠長	Lb = 187.6m (19 ~ 51 の合計)	m	187.6
小計	Lo = La+Lb	m	443.3
交点数(控除)	N = 184.0ヶ所	ヶ所	184.0
総延長	L = Lo-b×N	m	388.1

鉄筋挿入工凡例

●	L=5.0m
○	L=4.0m

注1) 本図と現地の差異により配置変更が生じる場合は、安全側の割付けとなるような配置調整を行うこと。※対策工(補強材等)の数量(密度)不足に注意。
また、斜面の凹凸により生じる法枠線形の影響により、鉄筋挿入工の補強材先端(地中側)が干渉(接近)する箇所については事前確認しておき対処を検討すること。
※法枠配置調整、鉄筋挿入工の打設角度調整、法枠枠内への受圧板設置等の対応。

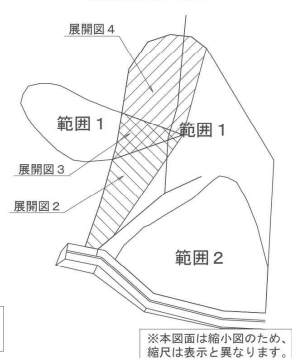
法面工数量表

展開図2	種別	数量	摘要
鉄筋挿入工 (φ90) L=5.0m		91 本	D22
		- 本	D19
吹付法枠工	施工面積	187.0 m ²	
	枠長	299.7 m	
間詰モルタル		2.2 m	
水切モルタル		94.3 m	
植生マット工 (獣害対策工併用)		63.3 m ²	※法枠内
ラス張り工		187.0 m ²	

展開図3	種別	数量	摘要
鉄筋挿入工 (φ90) L=5.0m		46 本	D22
		- 本	D19
吹付法枠工	施工面積	100.7 m ²	
	枠長	124.0 m	
間詰モルタル		2.2 m	
水切モルタル		54.5 m	
植生マット工 (獣害対策工併用)		44.4 m ²	※法枠内
ラス張り工		100.7 m ²	

展開図4	種別	数量	摘要
鉄筋挿入工 (φ90) L=5.0m		113 本	D22
		20 本	D19
吹付法枠工	施工面積	265.7 m ²	
	枠長	388.1 m	
間詰モルタル		18.5 m	
水切モルタル		126.2 m	
植生マット工 (獣害対策工併用)		98.6 m ²	※法枠内
ラス張り工		265.7 m ²	

展開図位置

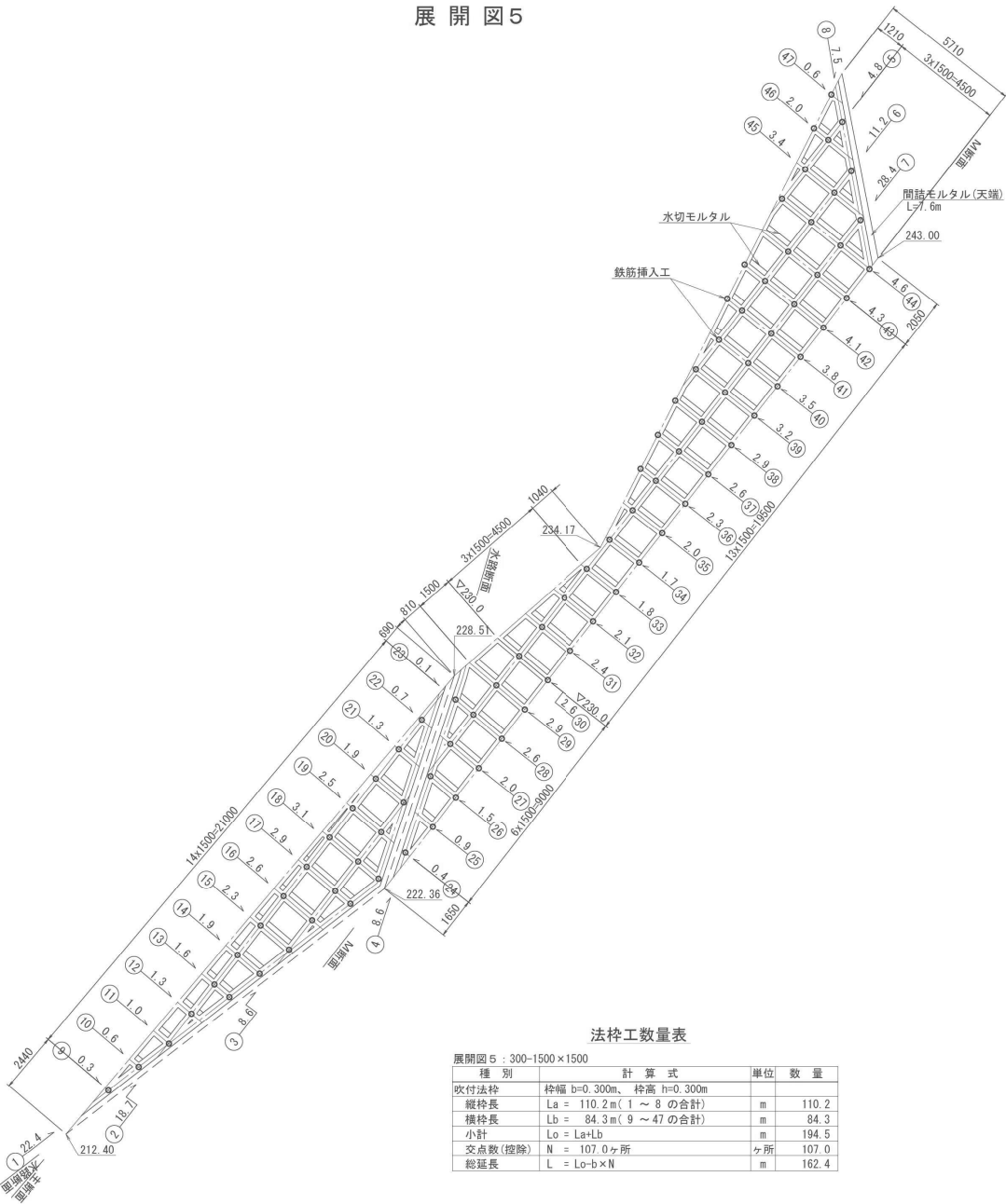


※本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R7中部横断道改良安全その2工事		
図面名	法面工展開図(3)		
縮尺	1:100	図面番号	48の23
年月日	令和8年1月		
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント		
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所		

法面工展開図（４） S=1:100

展開図5



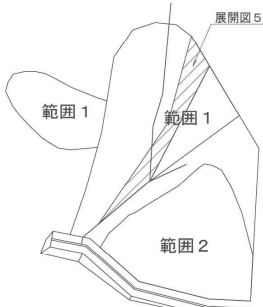
法枠工数量表

種 別	計 算 式	単 位	数 量
吹付法枠	枠幅 b=0.300m、 枠高 h=0.300m		
縦枠長	La = 110.2m(1 ～ 8 の合計)	m	110.2
横枠長	Lb = 84.3m(9 ～ 47 の合計)	m	84.3
小計	L0 = La+Lb	m	194.5
交点数(控除)	N = 107.0ヶ所	ヶ所	107.0
総延長	L = L0-b×N	m	162.4

法面工数量表

種 別	数 量	摘 要
鉄筋挿入工 (φ90) L=5.0m	- 本	D22
	85 本	D19
吹付法枠工	施工面積	133.8 m2
	枠長	162.4 m
間詰モルタル		7.6 m
水切モルタル		56.2 m
補生マット工(獣害対策工併用)		62.8 m2 ※法枠内
ラス張り工		133.8 m2

展開図位置



鉄筋挿入工凡例
L=5.0m
L=4.0m

注1) 本図と現地の差異により配置変更が生じる場合は、安全側の割付けとなるような配置調整を行うこと。※対策工(補強材等)の数量(密度)不足に注意。
また、斜面の凹凸により生じる法枠輪形の影響により、鉄筋挿入工の補強材先端(地中側)が干渉(接近)する箇所については事前確認しておき対処を検討すること。
※法枠配置調整、鉄筋挿入工の打設角度調整、法枠枠内への受圧板設置等の対処。

工 事 名	R 7 中部横断道改良保全その2工事
図 面 名	法面工展開図（４）
縮 尺	1:100 図面番号 48 の 24
年 月 日	令和 8 年 1 月
設計会社名	株式会社 総合技術コンサルタント
事務所名	国土交通省 甲府河川国道事務所